

高等小學地理書卷一  
文部省

38  
290  
929

教科  
32-  
2000

42764  
教科書文庫  
4.  
290  
32-1934  
2000  
67/60

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



資料室

教科書文庫  
4  
290  
32-1934  
2000067160



高等小學地理書 卷一

文部省

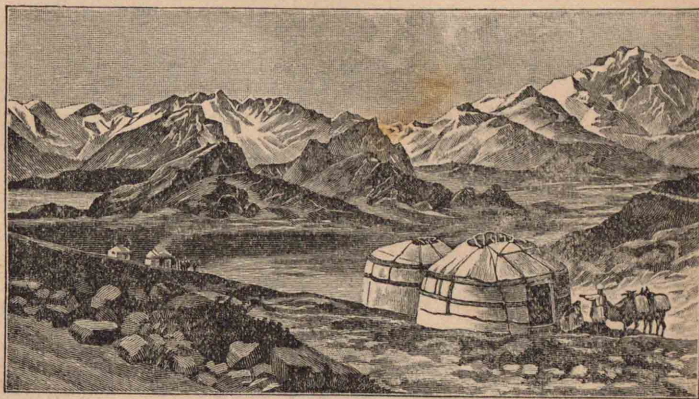


広島大学図書  
2000067160  


3b  
290  
AB9

44  
44  
44  
44



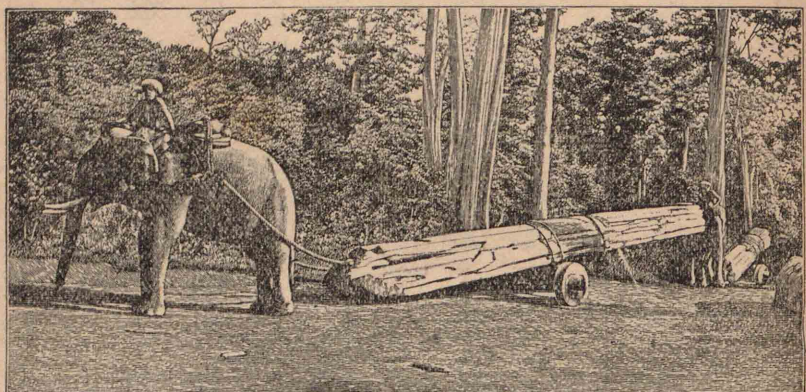


原 高 ル ミ バ

野を流れ、黒龍江はシベリヤの東部を流れて共に太平洋に入り、ガ  
ンジス・インダスの二川は印度平野を流れて印度洋に入る。またオ  
ビ・エニセー等の諸川はシベリヤの低地を流れて北極海に入る。

高地一

氣候及び生  
物



(ムヤシ) 搬 運 材 ク ー チ の 象

本洲は土地が廣く、地勢も複雑であるから、  
氣候及び生物は多種多様である。中央部と  
南西部とは大陸性氣候で、寒暑の差が甚だ  
しく、且、雨量が少ないから、沙漠や草原となつ  
てゐるところが多く、駱駝や羊などが飼養  
されてゐる。北部は一般に寒さが甚だしい。  
東部は温和であり、南東部から南部にかけ  
ては高温である。これらの地方は概ね季節  
風帯に屬し、夏季は雨量が多く、世界に於け  
る米の主産地となつてをり、人口も極めて  
稠密である。南東部及び南部では動植物の  
生育も盛で、猩々、象、虎、鱉などの動物や、椰子  
チークなどの熱帯樹木がある。

産業

産業は主に農業で、殊に季節風帯では米、茶、綿、甘蔗等の産額が多く、

養蠶業も盛である。工業は我が國を除く外は、まだあまり振るはな  
いが、一般に天産物が多く、原料品が豊富であるから、將來次第に盛  
になるであらう。

本洲の住民はその數十一億餘で、世界人口の過半を占めてゐる。そ  
の大部分はアジヤ人種で、主として東部及び中央部に住んでゐる。  
これに次ぐものはヨーロッパ人種で、印度半島及びその以西に住ん  
でゐる。マレー人種はその數極めて少く、主としてマレー諸島に住  
んでゐる。

宗教は主として佛教・印度教・マホメット教・キリスト教である。佛教は  
その信徒最も多く、主に東部に行はれ、印度教は印度に、マホメット教  
は西部に行はれてゐる。キリスト教は各地に信徒があるけれども、  
その數はあまり多くない。

本洲の獨立國には、我が國・滿洲・支那(中華民國)・シヤム・ペルシヤ・トルコ  
等があるが、我が國の外は國勢があまり振るはない。これら獨立國

高地一  
高地一

住民

宗教

區分

以外の大部分は歐米諸國の領土で、イギリス領の印度、フランス領  
の印度支那、アメリカ合衆國領のフリピン群島、オランダ領の東印  
度、ロシヤ領のシベリヤがその主なものである。

二 滿洲

滿洲は朝鮮の北西に連なり、西は蒙古及び支那本部に、北はシベリ  
ヤに接し、南は黃海と渤海灣とに臨んでゐる。面積は約百二十萬平  
方キロメートルで、我が國の一倍半もあるが、人口は約三千五百萬  
に過ぎない。奉天・吉林・黑龍江・興安熱河の五省に分れてゐる。

東部は一帶に山地で、朝鮮と境を接する附近には長白山脈が連な  
つてをり、西に行くに従ひ次第に低くなつて、滿洲平野に移る。この  
平野の北部は北滿洲平野で、松花江の流域であり、南部は南滿洲平  
野で、遼河の流域である。松花江と遼河とは、低い丘陵を分水嶺とし  
て、一は北西に流れて嫩江を合はせ、更に北東に流れて黑龍江に合  
し、一は南西に流れて渤海灣に入る。

地勢

位置・面積

滿洲平野の北西には興安嶺が横たはり、その西には外蒙古の高原が展開してゐる。

氣候は大陸性で、寒暑の差が甚だしく、夏はかなり暑い、冬は非常に寒い。一般に雨が少く、乾燥してゐる。

人口は南部の平野に稠密で、北部西部に稀薄である。人口の過半を占めてゐるものは、支那から移住して來た漢族で、滿洲族はその數が少い。我が内地人の在留するものは二十餘萬である。朝鮮人の在留するものは五十萬を超え、主として朝鮮と境を接する間島地方に住んでゐる。また北滿洲にはロシア人も少くない。

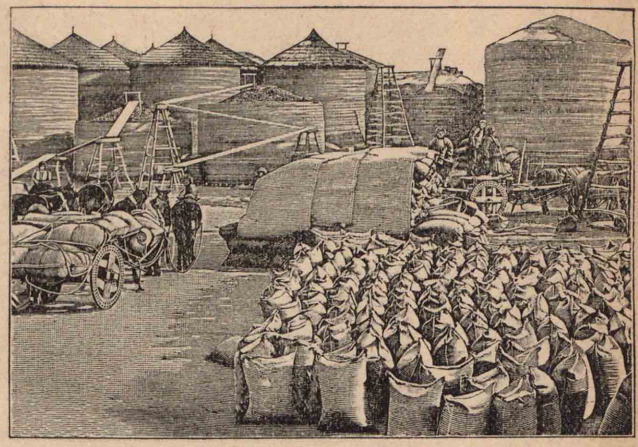
主な産業は農業である。最も生産の多いのは小麥・大豆・高粱・玉蜀黍粟である。小麥は雨の少い北滿洲に多く、高粱は比較的雨の多い南滿洲を主産地としてゐる。大豆の主な集散地は開原・鐵嶺・新京・チチハルで、或は鐵道によつて大連に送られ、或は遼河の水運によつて營口に送られる。滿洲の大豆は今や世界的の農産物になつてゐて、

産業  
農業

住民

氣候

高地一  
高地一



(原開) 積集の豆大

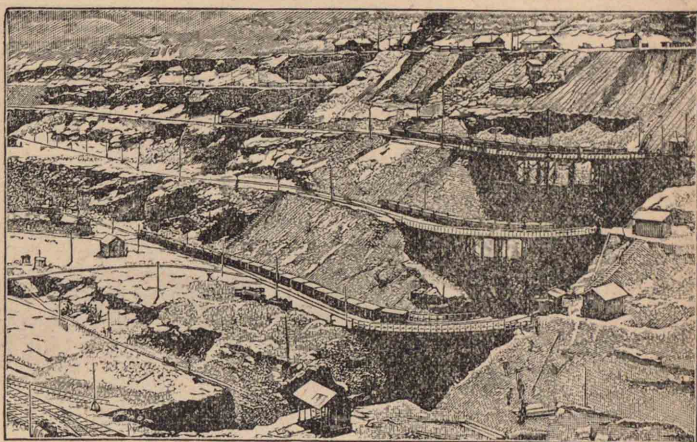
その大部分は、或は豆粕として、或は豆油として、或は大豆のまゝ、我が國及びヨーロッパ諸國へ輸出される。小麥の主な集散地はハルビンで、こゝには新式の製粉工場がある。高粱は玉蜀黍粟と共に滿洲人の常食となる外、高粱酒の醸造にも使用される。近年南滿洲の各處に於て水田の耕作も試みられてゐるが、一般に灌漑水に乏しいため、まだ好成績を擧げるに至らない。

牧畜は一般に行はれ、殊に豚は到るところに、羊は主として西部地方に飼養されてゐる。その他、牛・馬・驢・騾等が飼養されてゐる。森林は興安嶺及び東部の山地に多く、主としてとうせんまつてうせんもみからまつ等を産する。

林業

牧畜

鑛業



順撫炭坑の露天掘

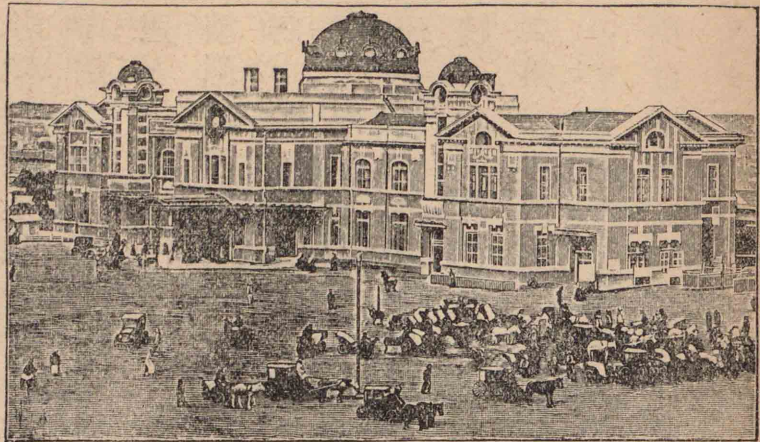
鑛産物の主なものは石炭と鐵とである。撫順炭坑は最も重要なもので、埋藏量の多いこと、炭層の厚いこと、及び露天掘で名高い。また油母頁岩からの採油をもやつてゐる。本溪湖煙臺からも良質の石炭を産する。鐵鑛は鞍山及び本溪湖附近から産出する。道路は不完全であるばかりでなく、夏季は時々豪雨があるため、泥濘膝を没する有様で、交通は容易でない。しかし、冬季は川も野も氷結するので、却つて車馬の往

來が便利である。

鐵道は我が南滿洲鐵道をはじめ、あまたの鐵道が敷設されてゐる。南滿洲鐵道は大連・新京間の連京線、安東奉天間の安奉線の外、各地

高地一

高地一



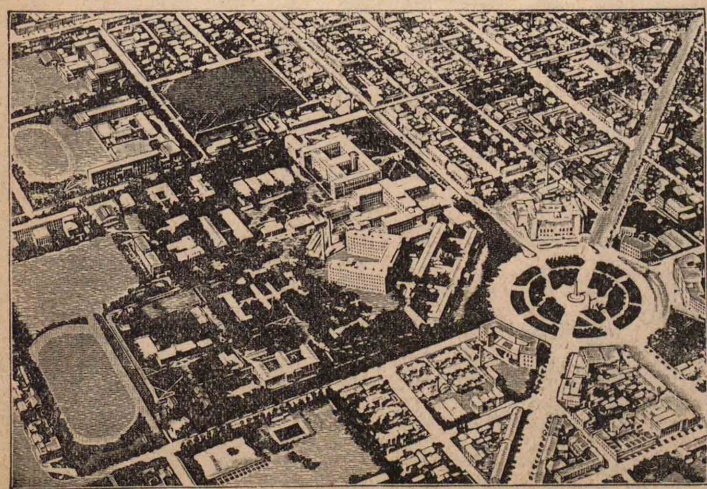
奉天驛

道は奉天・海龍間の鐵道、吉海鐵道は吉林海龍間の鐵道である。奉天鐵道は奉天・山海關間の鐵道で、山海關で支那の北寧鐵道と連絡し

に小支線がある。連京線はもとロシアの鐵道であつたが、日露戦争の結果、我が有に歸したもので、安奉線は我が國が敷設したものである。北滿鐵道は新京からハルビンに至る線を南部線といひ、ハルビンで東西二線に分れ、東部線は南東に走つてウラヂポストクに向ひ、西部線は北西に走り、興安嶺を越えて滿洲里に至り、シベリヤの鐵道と接続する。吉長鐵道は新京・吉林間の鐵道、吉敦鐵道は吉林・敦化間の鐵道である。敦化から敦圖鐵道があつて、朝鮮の鐵道と接続してゐる。瀋海鐵

てゐる。四洮鐵道は連京線の一驛四平街から分れて洮南に至る線と、その途中鄭家屯から分れて通遼に至る線とから成つてゐる。洮南からは洮昂鐵道によつて北滿鐵道西部線に達し、通遼からは奉山鐵道の支線大通線によつて奉山鐵道と連絡してゐる。

滿洲は昭和七年新たに興つた國で、朝鮮と地續であるばかりでなく、日清日露の兩戰役に我が同胞の多數が血を流し、東洋平和のために、多大の犠牲を拂つたところである。なほ我が國は關東州を租借し鐵道を敷設する外、各種の事業を經營してゐるので、彼我の關係は極めて密接で、相離るべからざるものがある。



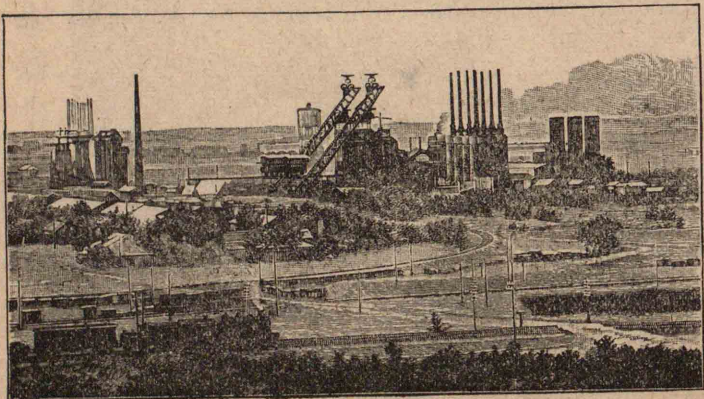
滿洲醫科大學及そびの附近

我が國との關係

高地一

奉天省

奉天省は滿洲の南部で、いはゆる南滿洲の大部分を占めてをり、滿洲中、人口が最も多く、文化が最も進んでゐるところである。西半は山平野であるが、東半は山地で、その南部は山が遠く連なつて遼東半島となり、その南端に我が關東州がある。省城奉天は滿洲第一の大都會で、新市街と城内とに分れてゐる。新市街は各種の設備が整つてゐる新式の市街で、滿洲醫科大學もある。奉天から連京線によつて南下すれば、遼陽鞍山大石橋等の都邑がある。遼陽は太子河に臨む滿洲の古都であり、鞍山には大規模の製鐵所がある。大石橋は遼東半島の基脚部に位し、營口支線の分岐點である。營口は遼河の川口の貿易港である。奉天から連京線によつて北上すれば、鐵嶺開原等を



鞍山製鐵所

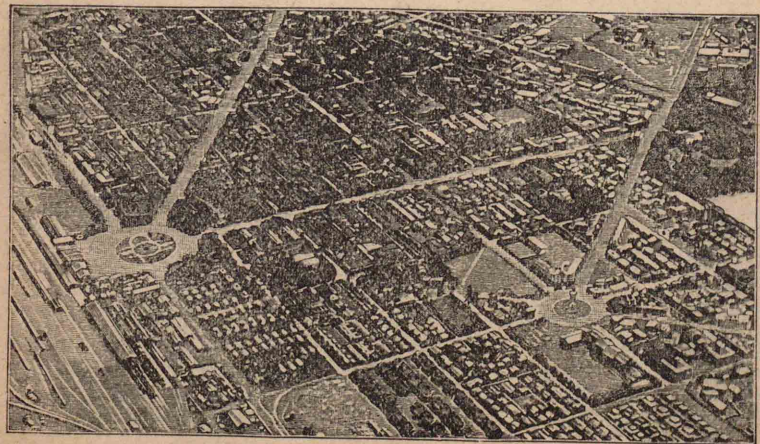


經て新京に達する。鐵嶺開原は大豆をはじめ、粟、高粱等の集散地である。なほ奉天の東には撫順炭坑がある。安奉線の沿線には、炭坑と製鐵所で名高い本溪湖がある。安東は朝鮮の新義州と鴨綠江を隔てて相對し、木材の集散地である。

興安嶺の東麓の地方は雨量が少いので、主として牧畜が行はれてゐるが、近來漢族が移住して農業を營むに至り、頓に活氣を呈してきた。鄭家屯、洮南通遼等は、その結果として出來た新しい都邑である。省の南西の部分は奉山鐵道の沿線で、新民、錦州等の都邑がある。

吉林省は奉天省の北東にあつて、その東部は大體山地で、森林地帯である。西部の

吉林省



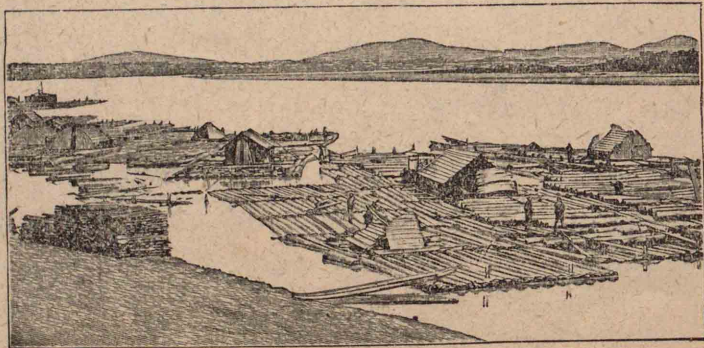
京 新

高地一  
高地一

黑龍江省

松花江の流域地方は概ね平野で、農産物が多い。新京はこの國の首府で、連京線の終點であると共に、北滿鐵道との接續點である。我が大使館もこゝにある。新京から吉長鐵道によつて東すれば、省城吉林がある。吉林は松花江に臨み、木材の集散地として名高い。間島は省の南東隅、豆滿江流域にある地方で、多數の朝鮮人が在住して農業に従事してゐる。局子街、龍井村などの都邑がある。新京から北滿鐵道によつて北上すれば、ハルビンがある。ハルビンは北滿洲第一の大都會で、松花江に臨み、水陸交通の要地に當り、商業が極めて盛である。

黑龍江省は吉林省の北西に位し、概ね平野で、大豆、小麥その他の農産物が多い。省城チチハルはその集散地である。チチハルの北東に



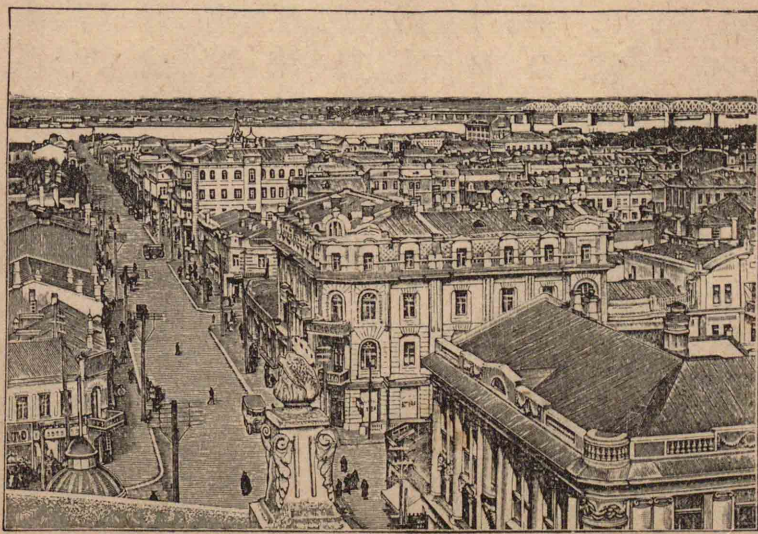
(林 吉) 材 木 の 江 花 松

興安省

ある黒河は國境都市で、黒龍江を隔てて、シベリヤのブラゴエシチェンスクと相對してゐる。興安省は黒龍江省の西にあつて、大部分は山地または草原である。この草原には、多く蒙古人が居住して遊牧を營んでゐる。ハイラルはその省城である。滿洲里は省の西隅にあつて、北滿鐵道西部線の西端に當つてゐる。

熱河省

熱河省は奉天省の西に位し、もと内蒙古の一部であつた地方で、萬里長城によつて支那と境してゐる。省内は山地が多く、産業はあまり盛でない。赤峯熱河等の都邑がある。熱河は省城である。



ン ビ ル ハ

高地圖一

位置・面積

地勢

三 支 那

支那はアジヤ洲の中部から東部にわたり、面積約一千万平方キロメートルで、アジヤ洲の四分の一を占め、ヨーロッパよりも廣く、我が國の約十五倍に當つてゐる。支那本部の外、蒙古、新疆、青海、西藏の諸地方に分れてゐる。

この國の中部から西部へかけては、土地が一般に高峻である。ヒマラヤ山脈の北に西藏高原があり、その北に崑崙山脈がある。崑崙山脈は東に延び、支那本部に入つて秦嶺となつてゐる。崑崙山脈の北にタリム盆地があり、更にその北に天山山脈がある。その東に蒙古高原がある。

この國の東部には一帯の平野がある。いはゆる支那平野で、黄河と揚子江との下流の流域を占めてゐるものである。なほ南部には珠江の流域の平野がある。

海岸線は比較的短い。北部は一般に單調で、山東半島と滿洲の遼東

半島とに抱かれた渤海灣の灣入があるのみである。しかし、南部の海岸には無数の小出入があつて、長灣に乏しくない。黄河は源を青海地方に發し、秦嶺の北に出で、東流して渤海灣に注いでゐる。多く黄土の間を流れるので、水が黄濁してゐる。長さ約四千キロメートル、揚子江に次ぐ支那第二の大川であるが、舟運の便は極めて少い。

揚子江もまた源を青海地方に發し、印度支那山系の間を流れて支那本部に入り、三峽を過ぎて平野に出で、東流して東支那海に注いでゐる。長さ約五千二百キロメートル、アシヤ洲第一の大川で、その流域の面積は殆ど支那本部の半ばに達してゐる。水量が多く、流が緩やかで、舟運の便に富んでゐるので、沿岸にはあまたの港市が發達してゐる。揚子江は實に支那の大動脈ともいふべきである。

國土が廣いから、氣候は一樣でない。西部の山地は大陸性の氣候で、雨量が極めて少く、沙漠や草原となつてゐるところが多く、東部は

## 氣候

## 産業

大體季節風帶に屬し、氣候が温和である。また北部は寒暑の差が大さいが、南部に行くに従つて、次第にその差が小さくなる。北部は冬季非常に寒いが、南部は亞熱帶氣候である。雨量は北部に少く、南部に多く、雨季は夏で、乾季は冬である。

農業は古來最も盛で、住民の過半数はこれに従事してゐる。黄河から南の平野では米、小麥、茶、麻、繭等を産し、北の平野では高粱、大豆、小麥等を産する。殊に米の産額の多いことは世界第一であるが、住民の數が極めて多いから、なほ不足を告げ、外國からも輸入してゐる。牧畜は一般に行はれ、豚をはじめとして羊、馬、驢、騾、牛、駱駝等を飼養してゐる。水産物は少いから、我が國から輸入する。鑛物の埋藏量は極めて豊富で、中でも石炭と鐵とは支那本部の北部、中部に多いが、あまり採掘されてゐない。また油田も有望なところがあるが、まだ採油をしてゐない。工藝品は昔から名高く、殊に絹織物や陶器は多額の産出があるが、製鐵、紡績、織布の如き大工業は、今なほ十分開發

交通

されてゐない。外國貿易は我が國、イギリス及びその領地、アメリカ合衆國等との間に盛に行はれ、主な貿易港は上海、漢口、天津、香港、廣東等である。主として原料品、食料品を輸出し、製造品を輸入する。交通はまだ不便である。北部は山地が多いから、馬、驢、騾等によつて交通し、平地では一輪車、馬車、轎等を使用してゐる。南部には川、湖、運河等が多いから、水運の便がある。殊に揚子江はその最も重要なもので、上海から重慶に至るまで約二千五百キロメートルの間は汽船が通つてゐる。我が國の汽船もこゝに航路を開いてゐる。殊に川口から漢口に至る一千キロメートルの間は、海洋を航行する大汽船も自由に上下することが出来る。有名な大運河は天津に起り、杭州に至るもので、その長さ約一千三百キロメートルもあつて、今では交通上あまり重要なものではないが、昔は南方

高地

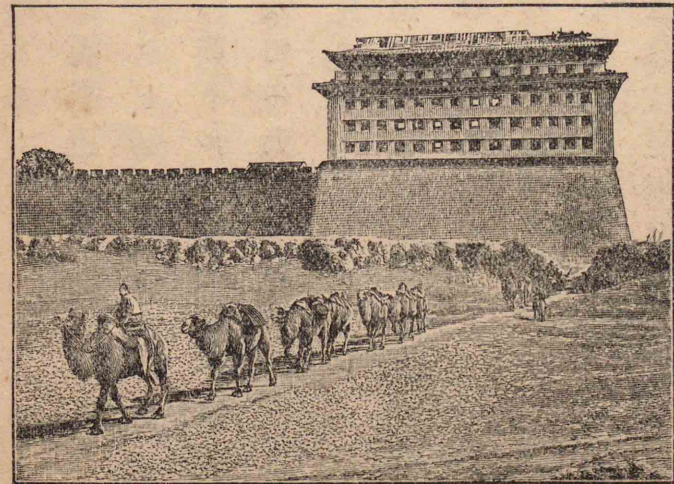
住民・宗教  
政治

の物資を北方に運搬する唯一の交通路であつた。鐵道は次第に敷設されてきた。中でも、平漢鐵道と津浦鐵道とは共に重要な幹線である。住民はその數約四億四千萬で、漢族、蒙古族、トルコ族、西藏族等の種族がある。その中、漢族は最も多數で、全人口の大部分を占め、主に支那本部に住してゐる。宗教の種類も多く、支那本部では佛教、道教、西藏、蒙古等では喇嘛教、新疆省その他ではマホメト教が行はれてゐる。またキリスト教も漸次盛になつてきた。政治は君主專制であつたけれど、古來革命がしばしば起つて朝が度々變つたが、遂に我が明治四十五年二月、政變の結果、共和國となり、國號を中華民國と稱し、立憲制を敷くに至つた。しかし、國內には外國の領土や租借地もあつて、統一がなかく、むづかしく、政府の基礎は鞏固でない。

我が國との  
關係

支那と我が國とは、古來密接な關係があり、昔は我が國も支那に負ふところが極めて多かつたが、日清日露の兩戰役後は、我が國は却つて彼の啓發に盡くすところが少くない。また支那はアメリカ合衆國に次ぐ我が國の重要な取引先で、彼我がの貿易は極めて盛である。支那から我が國へ油粕大豆植物性製油原料綿等を入れ、我が國からは綿織物砂糖紙小麥粉等を送つてゐる。

支那本部は支那の南東部を占め、北は滿洲及び蒙古に接し、東は黃海及び東支那海に、南は南支那海に臨み、西は青海西藏に接してゐる。面積は支那全土の四割に過ぎないが、人口は九割を超え、支那全土中最も重要な區域である。



北平の城壁

高地一

北支那

河北省

地形上、北支那中支那南支那の三部に分たれる。

北支那は河北山東山西河南陝西甘肅の六省に分たれる。北支那中重要な地方は、黃河白河の流域と渤海灣沿岸の地方とである。

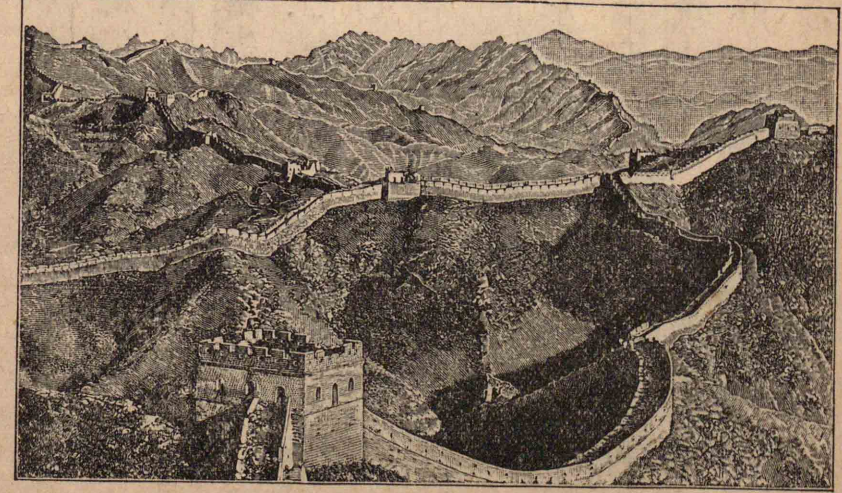
河北省は渤海灣の西方に位し、省城天津は白河の下流に臨む貿易港で、水陸交通の要點に當り、綿製品砂糖等の輸入、羊毛、その他の輸出が盛である。また近時製粉紡績等の工業も興つてきた。天津の外港塘沽は白河の川口にあるが、冬季は氷結するので、その間は秦皇島を以てこれに代へてゐる。北平はもと支那の首府であつたところで、雄大な城壁と壯麗な舊宮城等がある。北寧鐵道は北平に起り、天津を過ぎて北東に向ひ、炭坑で名高い開平を経て山海關に達するもので、山海關で滿洲の奉山鐵道と接續してゐる。



山海關

また津浦鐵道は天津に起り、南走して南京の對岸、揚子江岸の浦口に至り、連絡船によつて滬寧鐵道と接續してゐる。平漢鐵道は北平から南走して漢口に至るもので、津浦鐵道と共に支那の鐵道の重要な幹線である。有名な萬里長城は山海關に起り、ほゞ蒙古との境を西走し、蜿蜒三千キロメートル、甘肅省の西境に至るもので、大運河と共に昔の支那の二大土木工事である。

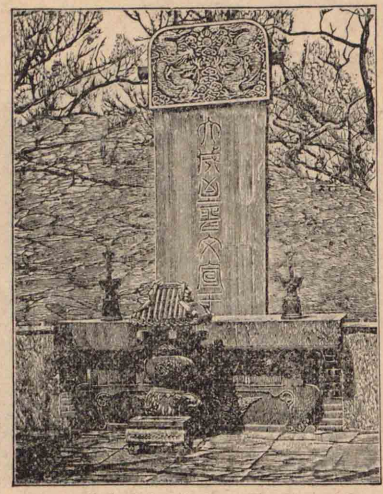
山東省は支那で最も早く開けた地方で、山東半島と黄河下流の平野とを含んでゐる。省内は農業が發達してゐるが、人口が稠密であるから、滿洲へ出稼するものが多い。省城濟南は



萬里長城

山東省

津浦膠濟兩鐵道の會點に當つてゐる。その南方にある泰山は有名な靈山で、泰山の南には孔子廟のある曲阜がある。渤海灣沿岸には芝罘、威海衛がある。膠州灣沿岸の地は、もとドイツの租借地で、ドイツは青島の港



孔子の墓(曲阜)

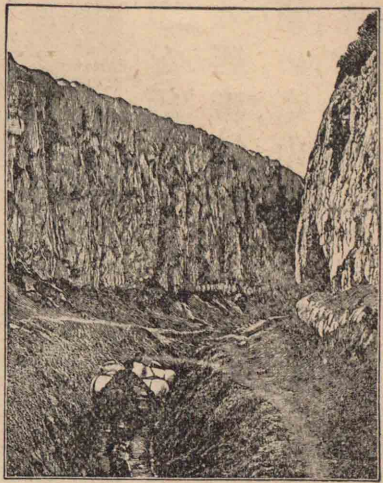
市を經營し、こゝを起點として濟南に達する膠濟鐵道を敷設した。その沿線には金嶺鎮の鐵山、坊子、淄川、博山等の炭坑がある。世界大戰に際し、これらは一時我が有に歸したが、後皆これを支那に還附した。ゞ鑛山のみ日支合辦で經營することとなつた。かゝる關



泰山山頂

係から、青島をはじめ、膠濟鐵道沿線の各地には、我が國人の在留す

るものが多い。



(省西山) 層土黃

山西省は河北省の西隣にあつて、北部は山地で、厚い黄土から成つてゐる。南部には多量の石炭が埋藏されてゐるが、まだ十分に採掘されてゐない。太原はその省城である。

山西省

河南省

河南省は山西省の南に當り、秦嶺の盡きるところ、黄河のはじめて平野に出るところに位し、古來中原と呼ばれて、久しく全支那の政治の中心であつた。黄河の流域に洛陽、開封の二都邑があり、開封は省城である。

陝西省

陝西省は河南、山西兩省の西隣の地である。省城西安は古の長安である。

甘肅省

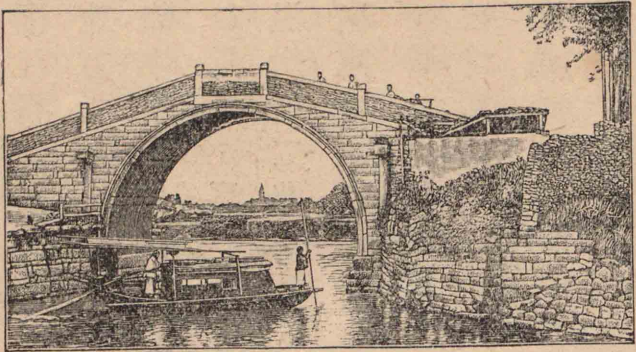
陝西省の西隣は甘肅省で、省城蘭州は黄河に臨み、中アジヤに通ず

中支那

る陸上交通の要地である。

中支那は江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南、四川、貴州、雲南、西康の十省を

江蘇省



(橋風) 景風の近附州蘇

含み、主として揚子江の流域である。

江蘇省は揚子江下流の平野で、人口最も稠密、農業が極めて盛なところである。米の産額が多いことでは、南隣の浙江省と共に著名である。また綿生絲、絹織物の産額が多い。省城鎮江は揚子江の港市である。その上流にある南京は支那の首府であるが、市況はあまり振るはない。南京と上海をつなぐ滬寧鐵道の沿線の蘇州は、絹織物の産地として著名である。上海は揚子江の一支流黄浦江に臨む支那第一の都會で、世界的の貿易港である。我が國との交通貿易も極めて盛で、我からは綿製品を多く輸入してゐる。上海では、近時各種の工

業が大いに發達してきたが、我が國人の經營する綿絲紡績業が殊に盛である。

浙江省

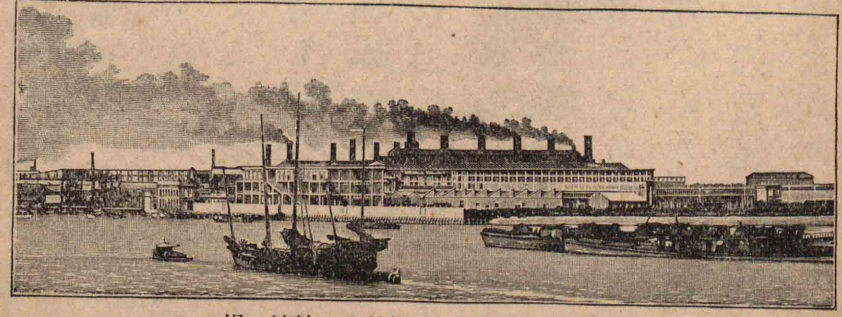
浙江省は江蘇省の南に位し、農業が極めて盛な地方である。省城杭州は錢塘江に臨み、古來絹織物の産地として知られてゐる。附近にある西湖は景色が良いので名高い。支那海沿岸には寧波温州の二港がある。

安徽省  
江西省

南京から揚子江を遡つて安徽省へ入ると、蕪湖がある。附近の桃冲鐵山からは、我が國へ鐵鑛を送つてゐる。安徽省の南隣に江西省がある。省城南昌は鄱陽湖の南にある。九江は揚子江に臨む港市で、茶を輸出する。萍郷は石炭の産地として著名である。

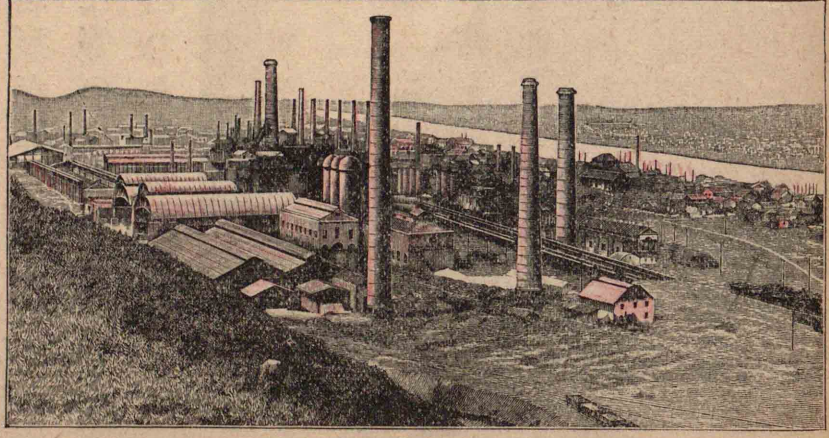
湖北省

湖北省は河南省の南にあり、湖北省の南に湖南省がある。湖北湖南



海上に我が國人の經營する紡績工場

兩省の地はいはゆる湖廣盆地であつて、揚子江中流域で最も重要な地方である。漢口は揚子江とその支流漢江との會點に位し、揚子江を挟んで省城武昌と、漢江を挟んで漢陽と相對し、極めて樞要な地點を占めてゐるので、貨物の集散が盛で、茶綿等の輸出が多く、我が國からは綿製品を多く入れてゐる。また近時製粉製油等の工業も興つてきた。漢口は平漢鐵道の終點で、對岸の武昌から粵漢鐵道によつて、廣東に達するはずだが、まだ全通してゐない。漢陽は有名な製鐵所のあるところで、萍郷の石炭を用ひ、大冶鐵山の鐵鑛を製鍊してゐる。大冶は漢口の南東に位し、昔から有名な鐵山

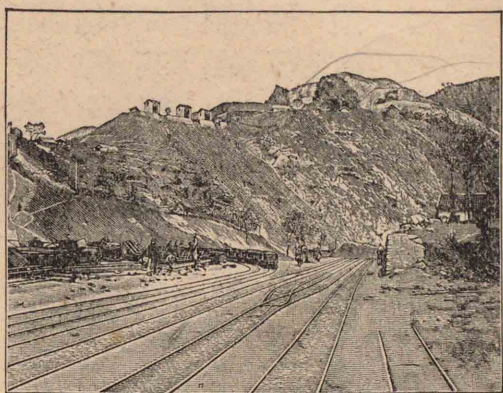


漢陽製鐵所



湖南省

で、我が國へも鐵鑛を多く送つてゐる。



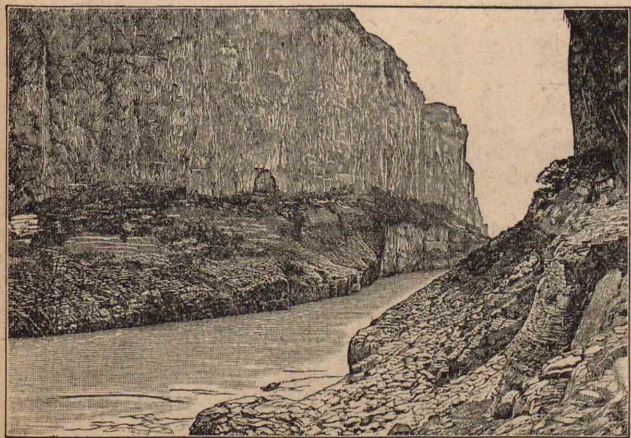
大冶鐵山

湖南省は洞庭湖を擁し、東隣の江西省と地形が甚だよく似てゐる。洞庭湖は湘江、沅江等の水を集め、揚子江と連絡してゐる。武昌から粵漢鐵道によつて

南西に向へば、洞庭湖の咽喉に當つて岳州がある。

更に南下すれば、湘江に臨んで省城長沙がある。岳

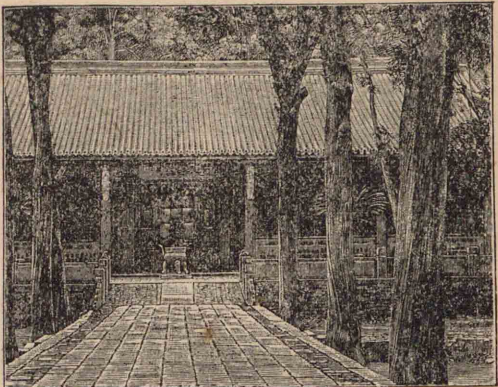
州から揚子江を遡れば、再び湖北省に入り、沙市、宜昌を過ぎて漸く山地に入る。ここがいはゆる三峡の嶮で、兩岸絶壁をなし、流が急で、舟行が危険である。



三峡(風箱峡)

四川省  
西康省

三峡の嶮を遡れば、四川省へ入る。四川省はいはゆる四川盆地で、その面積はほぼ我が内地と等しく、農業、牧畜が盛である。省城成都はこの盆地の中心を



孔明廟(成都)

なす都會で、古來絹織物で名高い。揚子江の一支流嘉陵江が本流と會するところに重慶があり、上海から遡江する汽船の終點である。西康省は西藏に接する地方である。四川省の南に貴州、雲南の二省がある。この地方はいはゆる雲貴高原で、揚子江と珠江

貴州省  
雲南省

南支那

との分水嶺をなしてゐる。雲南省の省城雲南から、鐵道によつて、フランス領印度支那のハノイに達することが出来る。

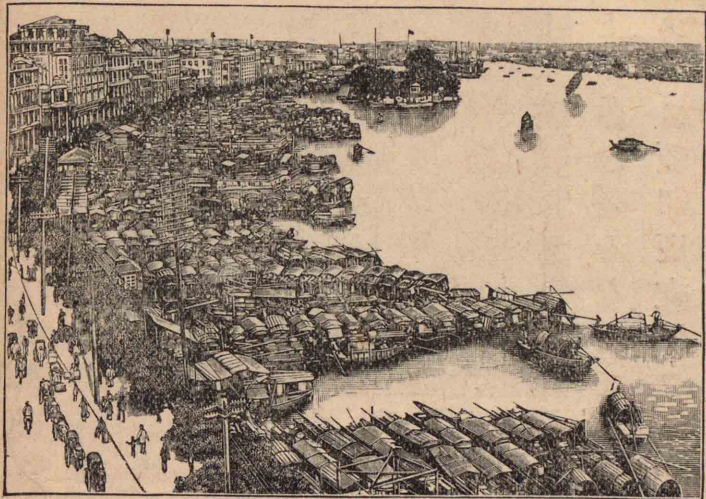
南支那は福建、廣東、廣西の三省に分たれ、北東部は臺灣海峽に臨み、南部は主として珠江の流域である。

福建省

福建省は臺灣の對岸で、山地が多く、農業はあまり盛でない。省城福

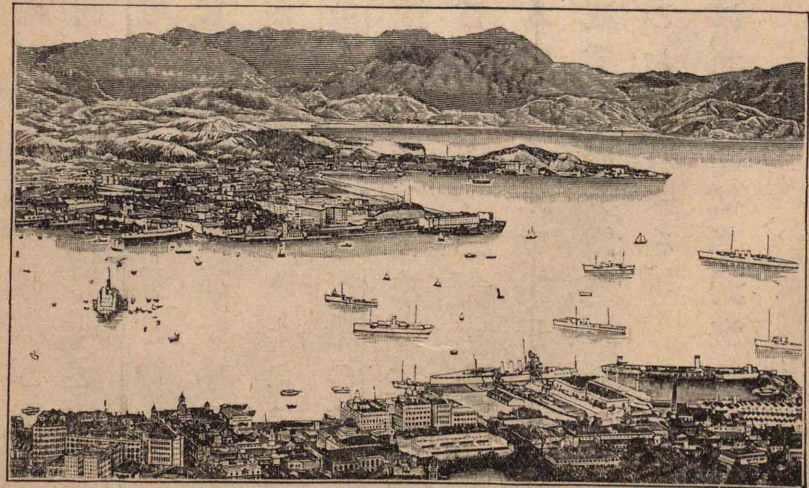
廣東省  
廣西省

州は閩江の下流にある。厦門は開港場として名高い。廣東廣西の二省の大部分は珠江の流域で、支那本部の最南に位し、氣候は亞熱帶性である。廣東省の省城廣東は、珠江の三角洲の上に發達した南支那第一の都會で、生絲、絹織物、茶



東 廣

絹織物 會で、生絲 第一の都會 南支那第一 發達した 洲の上に 江の三角 廣東は、珠



港 香

蒙古

等を輸出してゐる。粵漢鐵道はこゝから北に向ひ、湖南省の境に近いところまで開通してゐる。香港は廣東灣の一小島で、對岸九龍半島との間に良港を形成してゐる。イギリスの領地であるが、自由港であるため、仲繼貿易が極めて盛で、我が國からは綿製品、石炭等を入れてゐる。

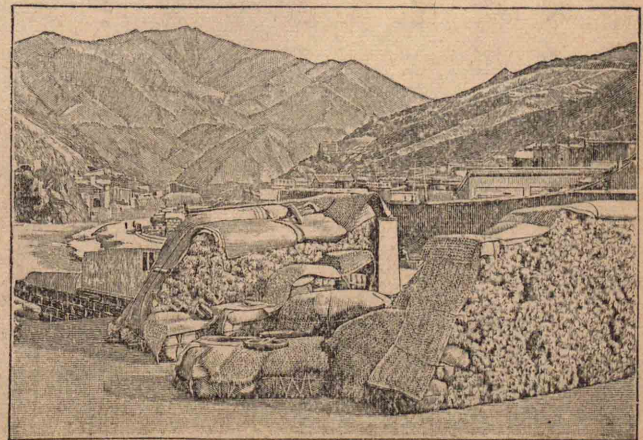
蒙古は支那本部の北に位し、面積約三百五十萬平方キロメートルにわたる廣漠な高原であるが、大部分は不毛の地である。中央にあるゴビ沙漠によつて、大體、内蒙古と外蒙古との二部に分たれてゐる。住民は蒙古人で、僅かに百八十萬に過ぎない。牧畜を業とし、テント生活を營み、喇嘛教を信じてゐる。

内蒙古は察哈爾、綏遠、寧夏の三省に分れてゐる。近來漢族の移住するものが漸く多くなるに従つて、農業が次第に盛になつてきた。内蒙古の主要な都邑は張家口、歸化城等である。中でも張家口は蒙古と支那本部との境界にある貿易市で、羊毛、駱駝毛、毛皮等の取引が

盛である。  
外蒙古は首府をクーロンといひ、こゝに喇嘛教の教主である活佛が住居して、軍事行政の權を握つてゐるが、今はロシアの勢力の下にある。クーロン、張家口間には自動車を通じてゐる。クーロンの北にある賣買城はシベリヤのキヤフタに對する國境都市で、クーロンと共に、茶の取引が盛である。

新疆省

新疆省は蒙古の西にあつて、東西に走る天山山脈によつて、天山北路と天山南路とに分たれる。天山北路は細長いイリ盆地である。天山南路はタリム盆地で、中央にタクラマカン沙漠がある。カシガルは中アジアに通ずる交通の要路である。新疆省の住民は多くトルコ族で、マホメット教を信じ、遊牧を營んで



張家口に於ける羊毛の積集

高地一

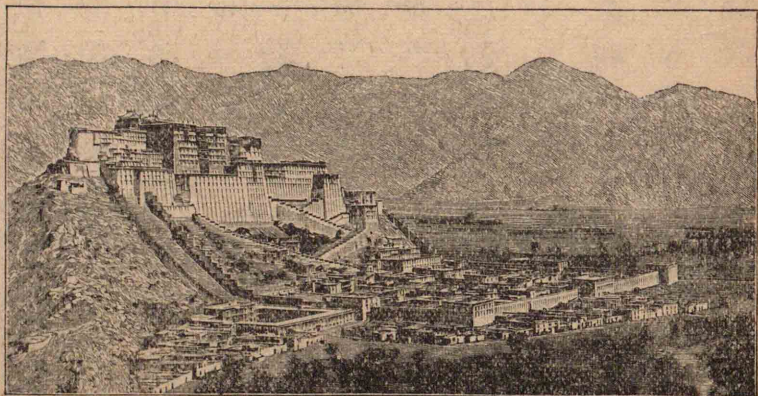
青海省

る。

青海省は新疆省の南東に隣り、土地が高峻で、寒暑の差が極めて甚だしく、一般に荒漠な地であるから、住民も極めて少い。

西藏

西藏はヒマラヤ、崑崙兩山脈の間に横たはり、海拔四千メートル以上の高度を有する世界第一の高原で、寒暑の差が甚だしく、氣候は極めて悪い。一般に土地が荒漠であるが、たゞ南部のブラマプトラ川の流域のみはやゝ開けてをり、有名な達賴喇嘛の宮殿のあるラッサが、その中心をなしてゐる。達賴喇嘛は喇嘛教の教主であると共に、政治の實權をも握つてゐる。住民は西藏族で、喇嘛教を信じ、主としてヤク、羊等の牧畜を行つてゐる。今ではイギリスの勢力の下に半獨立の



達賴喇嘛の宮殿

形を呈してゐる。

#### 四 シベリヤ

位置・面積・人口

シベリヤはロシアの領地で、アジア洲の北部一帯の地を占め、西はウラル山脈を境として、ロシア本國に連なり、南は滿洲及び支那に接し、東はベーリング海峽を隔てて北アメリカ洲に對し、北は北極海に面してゐる。面積は約一千二百萬平方キロメートル、人口は約一千萬である。

地勢

東海岸はやゝ出入が多い。北東部にはカムチッカ半島が突出し、その東にはベーリング海がある。更にその北にあるベーリング海峽は幅極めて狭く、僅かに八十キロメートルに過ぎない。北極海の海岸は比較的單調である。

地勢は南から北に進むに従つて次第に低く、高地帯草原帯森林帯凍原帯の四帯に分れてゐる。高地帯は東部から南東部にわたり、ヤブロノイスタノボイ等の山脈が連なつてゐる。草原帯は廣大な平

高地一

野で、ステップと稱せられ、南西部に最も廣い面積を占めてゐる。森林帯は草原帯の北に隣り、主として針葉樹の森林である。凍原帯は最北部にあつて、ツンドラと稱せられ、一年の大部分は凍結し、たゞ短い夏の間だけ、地表の一部がとけて濕地となり、苔類その他矮小な植物が生育するに過ぎない。

太平洋の斜面には黒龍江があり、北極海の斜面にはレナ・エニセイ・オビの三大川がある。また處々に湖沼があり、中でもバイカル湖は世界最深の湖で、その面積はほゞ我が九州と等しい。

氣候

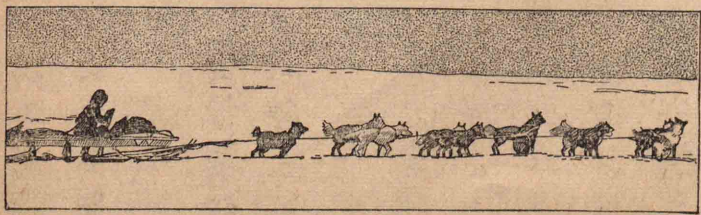
廣大な陸地であるから、大陸性の氣候である上、大部分は北緯五十五度以北にあるので、一般に非常に寒い。レナ川下流附近の地は、世界の寒極と稱せられてゐる。

産業

産業中主要なものは農業で、主として草原帯で行はれ、小麥の産額が多い。また牧畜も行はれてゐる。森林は廣大な面積を占めてゐるが、交通不便のため、まだあまり利用されてゐない。毛皮はその産額

交通

世界第一で、主として森林帯で産する。鑛物は高地帯に限られ、金を以て第一として行はれる。また水産物も多い。工業はまだ發達せず、僅かに製粉製酪等が行はれるのみである。随つて精製品を輸入し、原料品、食料品を輸出する。貿易は主としてロシア本國との間に行はれ、支那及び我が國とも取引してゐる。陸上の交通には、夏は車馬、冬は橇を用ひる。また大きい川や湖には、夏の間だけ汽船が通つてゐる。鐵道の開通してゐるのは、南部地方に限られてゐる。シベリヤ鐵道は、その中で最も重要なもので、通常、ウラヂボストックから、ハルビンを経てモスコーに至る間を總稱し、歐亞連絡の大幹線である。その他、ウラヂボストック附近から北方に向ひ、ハバロフスクを経て黒龍江に沿ひ、チタ附近でシベリヤ鐵道と合する線もある。住民の大多數はロシア人で、主として農業に従事し



橇犬のヤリベシ

住民

高地一

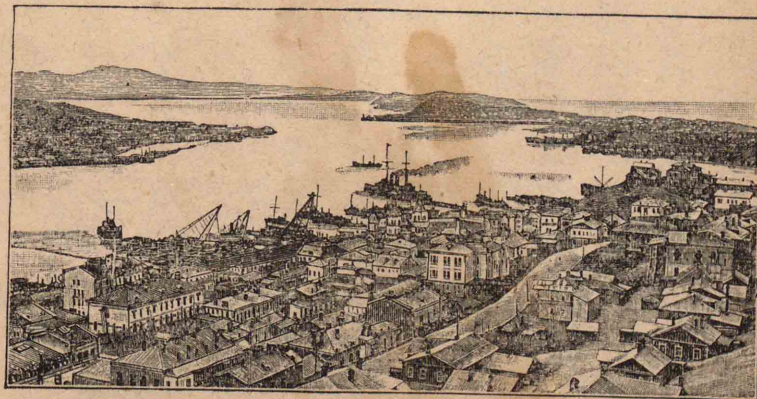
都邑

てゐる。ロシア人は、近來國境を越えて外蒙古方面に發展し、漸次勢力を占めるに至つた。ギリヤーク、ツングース等の土人もゐるが、その數は極めて少く、主として遊牧を營んでゐる。北樺太は我が樺太の地續である。オハ附近には油田があつて、我が國はその採掘權を得てゐる。アレキサンドロフスクは北樺太第一の都邑である。オホーツク海及びその附近は、世界三大漁場の一で、にしん、さけ、ます、たらかに等の漁獲物が多い。我が國はこの漁業權を得てゐる。で、年々多數の日本人がこゝに出漁する。黒龍江の川口のニコライエフスクとカムチャッカ半島のペトロバウロフスクとは、共に漁業の中心地である。ウラヂボストックは日本海に面する重要な港で、シベリヤでは最も暖いところであるが、冬季港が氷結する。またウラヂボストックはシベリヤ鐵道の起點であつて、我が敦賀との間には定期航路が開かれてゐる。黒龍江の沿岸にはハバロフスク、ブラゴ

エシチエンスク等の都邑がある。バイカル湖の東にはチタ、西にはイルクーツクがあり、共に附近の商業の中心をなしてゐる。ヤクーツクでは毛皮の取引が盛である。イルクーツクから西は、土地が次第に開けて、西部シベリヤの草原帯となる。この地方は地味が肥え、小麦その他の農産物が多いので、シベリヤの穀物倉と稱せられてゐる。トムスクは西部シベリヤの重要な都邑である。

### 五 印度支那半島

印度支那半島はアジヤ大陸の南東部にあ  
る半島で、支那と印度との中間に位してゐる。氣候は熱帶性で、四季の區別がなく、また季節風がよく發達し、一年は雨季と乾季とに分



クットスボヂラウ

高地一

たれる。

域内には印度支那山系が數條に分れて、ほゞ南北に連なり、メーコン・メナム・イラワヂー等の諸川がその間を南流してゐる。これら諸川の下流の流域は肥沃な平野で、米の産額が多い。我が國で外米ぐわいまいと呼ばれてゐるのは、この地方から來る米である。

行政上、フランス領印度支那・シム・イギリス領印度支那に分たれてゐる。

フランス領  
印度支那

フランス領印度支那は、印度支那半島の東部を占めてゐる。フランスの重要な植民地で、面積約六十六萬平方キロメートル、人口約二千萬、住民は主として安南人である。

印度支那山系の一部が脊梁山脈となつて、ほゞ南北に走り、土地が概ね高峻であるが、メーコン川・ソンコイ川、その他の流域には處々に平野がある。

ソンコイ川の下流にあるハノイは、フランス領印度支那の首府で、

川口のハイフオンは米の輸出港として名高い。ハノイから支那の雲南に鐵道が通じてゐる。サイゴンはメーコン川下流の平野にある貿易港で、我が國へも米を輸出してゐる。

シヤムは印度支那半島の中央部に位し、この半島中、唯一の獨立國であつて、その西部には高峻な印度支那山系が連なつてをり、南はシヤム灣に臨んでゐる。面積約五十二萬平方キロメートル、人口約一千二百萬を有してゐる。國の中央部にはメナム川が流れ、その下流の平野からは多量に米を産出し、南部のマレー半島の部分からは錫を出してゐる。首府バンコクはメナム川の下流に



ク コ ン バ

イギリス領  
印度支那

臨み、政治、商業の中心をなしてゐる。我が公使館もこゝにある。この國は君主國體であつて、近時先進國の例にならつて、専ら國政の改善に努力してゐる。我が國へ米とチーク材とを輸出し、我が國からは絹織物を輸入してゐる。イギリス領印度支那は、ビルマ、マレー聯邦海峽植民地に分れてゐる。

ビルマ

ビルマは印度支那半島の西部にあつて、面積約六十八萬平方キロメートル、人口約一千五百萬、もと獨立國であつたが、今ではイギリスの領地で、印度帝國の一部となつてゐる。國內には印度支那山系の一部が通つてをり、その間をサルウィン、イラワヂーの二川が流れてゐる。夏季は雨量が極めて多いので名高い。平野には米の産額が多く、我が國へも輸出してゐる。またチーク材及び石油の産額も多い。首府ラングーンはイラワヂー川の三角洲の上にあつて、米の輸

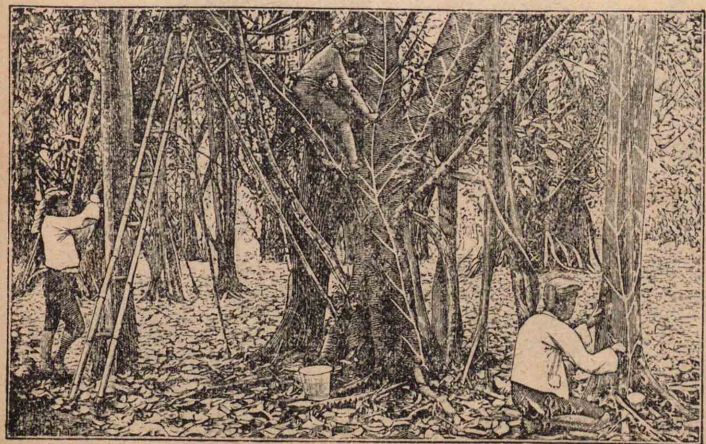
マレー聯邦

出で名高い。

マレー聯邦はマレー半島の南部を占め、聯邦をなす國々は各土人の酋長がこれを治め、イギリスの保護を受けてゐる。面積約十三萬平方キロメートル、人口約二百六十萬を有してゐる。ゴム及び錫の産額が多く、共に世界第一である。またジョホールからは、鐵鑛を我が國へ多く送つてゐる。

海峡植民地

海峡植民地はイギリスの直轄地で、マレー聯邦の間に挟まれ、ピナン・マラッカ・シンガポール等の要地を占めてゐる。面積は約四千平方キロメートル、人口は約百萬に過ぎない。中でも、シンガポールは半島の南端にある小島に建設された港で交通上、軍事上、最も大切なところである。シ



ゴムの液の採集

高地一

位置・面積・人口

### 六 マレー諸島

マレー諸島は、アジヤ大陸の南東の海上にある群島である。主なもの、は、フィリピン群島、ボルネオ島、セレベス島、ジャワ島、スマトラ島である。

フィリピン群島はアメリカ合衆國の領地であり、ボルネオ島の北部はイギリスの領地であるが、その南部及びその他の諸島は、大抵オランダの領地であつて、これに大洋洲のバプア島の西半部を加へて、一般にオランダ領東印度と呼ばれてをり、オランダの重要な植民地である。

フィリピン群島は面積約三十萬平方キロメートル、人口約一千二百萬、オランダ領東印度は面積約百九十萬平方キロメートル、人口約六千萬である。

氣候

大部分は赤道を中心として、北緯二十度から南緯十度の間にある



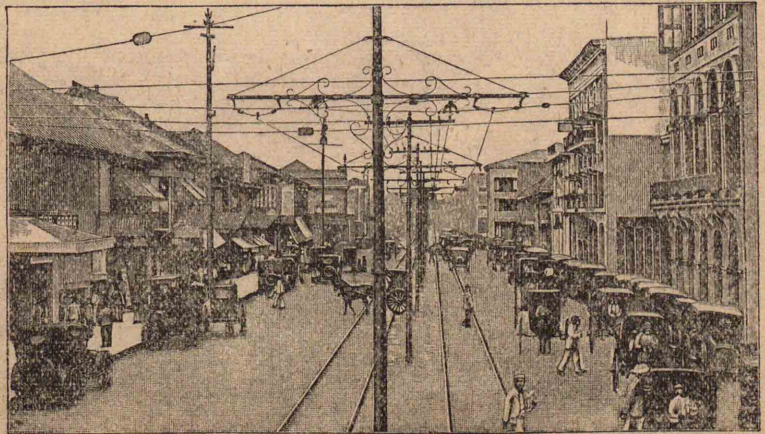
住民

ので、氣候は熱帶性で、四季の別がない。海岸の平地は暑さがはげしいが、山地は温和である。一年は雨季と乾季とに分れてゐるが、雨は一般に多いので、植物がよく繁茂してゐる。氣候は悪いが、天産物が多いから、住民は極めて多い。殊にジワ島は人口が最も稠密である。

住民の大部分はマレー族であるが、經濟的には支那人が發展してゐる。歐米人は極めて少いが、政治、その他の實權を握つてゐる。

フィリピン  
群島

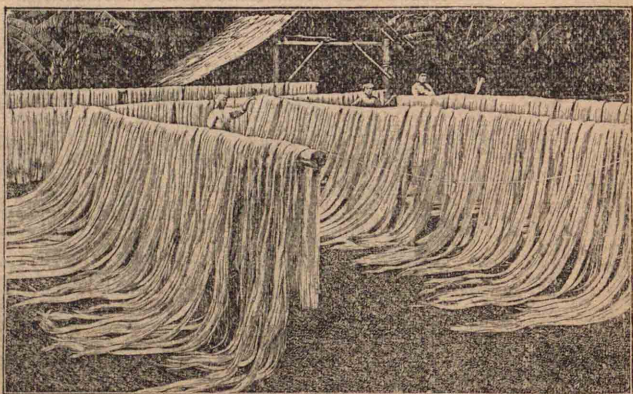
フィリピン群島は、もとイスパニヤの領地であつたが、米西戦争の結果、アメリカ合衆國の領地となつたところで、交通上、軍事上、極めて重要な位置を



ラ ニ マ

占めてをり、我が臺灣とはバシー海峽を隔てて相對してゐる。

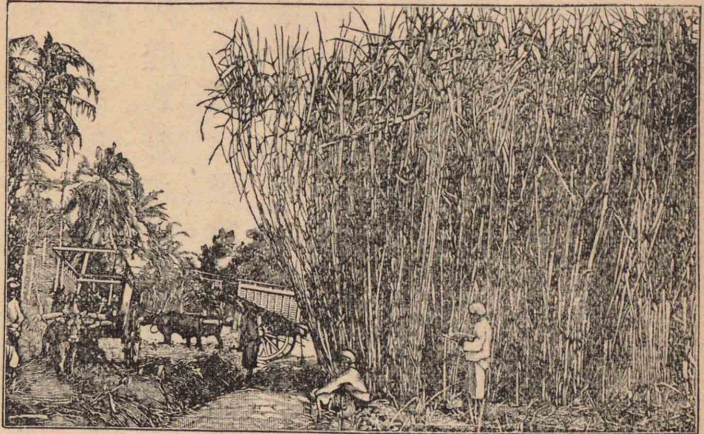
群島中、最も大きいのは北にあるルソン島で、これに次ぐものは南にあるミンダナオ島である。ミンダナオ島の東には、世界の最深處として有名なフィリピン海溝がある。ルソン島は農業が盛で、米、砂糖、煙草、マニラ麻、コブラ等を産する。我が國へはマニラ麻を多く輸出し、我が國からは綿織物、メリヤス、石炭を輸入してゐる。群島の首府マニラは重要な貿易港で、附近のカビテには軍港もある。ミンダナオ島のダバオは我が國人の經營する農林業の中心地である。マニラ、ダバオ等には我が汽船も通つてゐる。



麻 ラ ニ マ

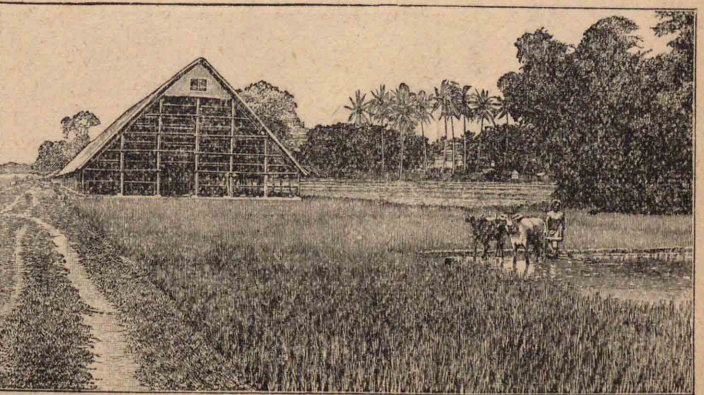
ボルネオ島  
スマトラ島

ボルネオ島とスマトラ島とは、共にまだ十分に開拓されてゐない



畑 蔗 甘 の ワヤジ

が、石油、ゴム等の産額が多く、石油は我が國へも多く送られる。ボルネオ島の北部には、我が國人の經營するゴム園がある。



田 水 の ワヤジ

業が非常に盛である。甘蔗は西印度諸島のキ、バ島と共に世界的の産地で、我が國へも、粗糖として多量に輸出してゐる。その外、米、ゴム、茶、コーヒー等の産額も多い。バタビヤはオランダ領東印度の首府

ジャワ島

高地一

### 七 印 度

で、サマラン、スラバヤと共に、我が汽船の寄港地となつてゐる。

位置・面積・人口

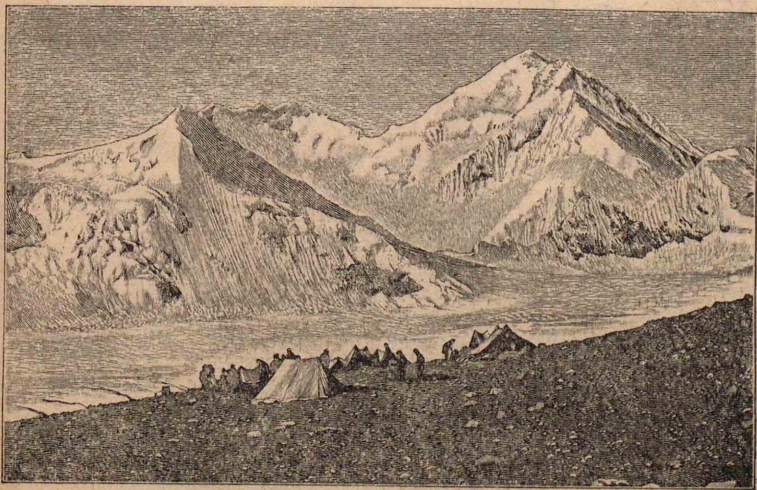
印度は、アジヤ大陸の南部に突出した半島と、その基脚部とから成り、イギリスの領地で、行政上の印度帝國からビルマ、ベルチスタンを除いたもので、これに南にあるセーロン島を加へると、面積約三百八十萬平方キロメートルに達し、イギリスの最も重要な領地である。人口は約三億四千萬である。

地勢

印度は、地勢上、デカン高原、印度平野、ヒマラヤ山地の三區に分たれる。デカン高原はほぼ三角形をなす廣大な臺地で、その西側には西ガツ山脈が横たはり、東に赴くに從つて、地勢が次第に低くなつてゐる。この高原を流れる諸川は、皆源をこの山脈に發し、東流してベングアル灣に注いでゐる。半島の南端に近くセーロン島がある。ヒマラヤ山地はヒマラヤ山脈の南側の斜面である。この山脈は新しい褶曲山脈で、延長約二千五百キロメートルに達し、南方に彎曲

する大弓形を畫がき、山勢高峻を極め、處々に壯大な氷河がある。主峯エベレストは高さ八千八百四十メートル、實に世界第一の高峯である。

ヒマラヤ山地とデカン高原との間に印度平野がある。この平野の西部はインダス川の流域で、中部から東部へかけては、ガンジス川及びブラマプトラ川の流域である。ガンジス川は下流でブラマプトラ川を合はせ、廣大な三角洲を作つて、ベンガル灣に注いでゐる。氣候は熱帶性で、平野は年中暑氣が甚だしいが、山地は温和である。季節風がよく發達してゐるところで、夏は南西の風が吹き、雨が甚だ多く、冬は北東の



ト ス レ ベ エ

氣候

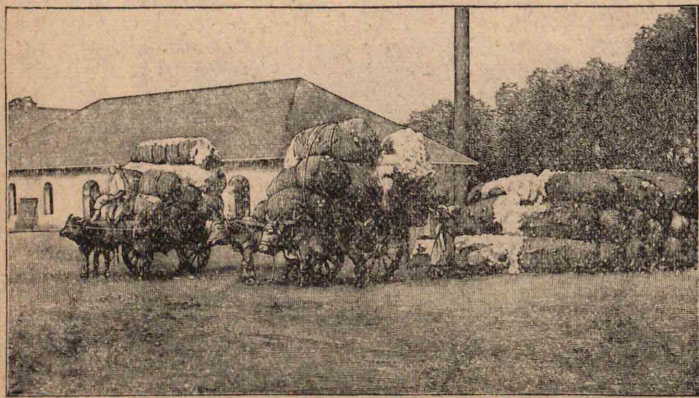
高地一

産業

風が吹き、雨が非常に少い。ヒマラヤ山脈の南東麓にあるアッサム丘陵地は、世界で最も雨の多いところである。

印度は農業が盛で、住民の七割はこれに従事してゐる。米・小麥の外、綿・甘蔗・コーヒー・茶・ジュート麻の産額が多い。牧畜も盛で、殊に牛の多いことは世界第一である。工業はあまり振るはないが、近時綿・絲・綿織物・ジュート麻の工業が發達してきた。綿・絲・綿織物工業の中心はボンベールで、ジュート麻工業の中心はカルカタである。

外國貿易は、主としてジュート麻・綿等の如き原料品、茶の如き食料品を輸出し、綿織物、鐵及び鐵製品、機械、砂糖等の精製品を輸入してゐる。取引はイギリス本國との間に最も盛である。



し 出 積 の 綿

交通

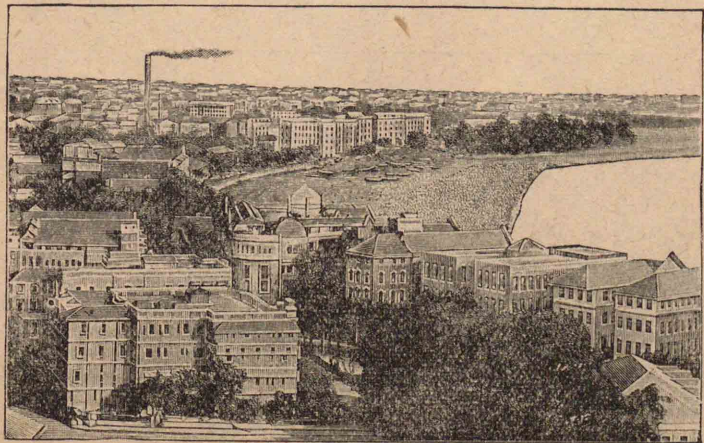
鐵道のよく發達してゐるのは印度平野である。航路はカルカッタ・ボンベール・コロンボ等から、イギリス本國をはじめ、諸外國に通じてゐる。我が國もまたカルカッタ・ボンベールに航路を開いてゐる。

住民

住民はヒンヅ族が最も多く、これに次ぐものはマレー族である。ヒンヅ族はヨーロッパ人種に屬してゐて、昔は文化のよく發達した種族であるが、階級制度の弊害が多く、今は甚だ振るはない。しかし、だんく、覺醒して、イギリスの羈絆から脱しようとする運動を起すものが多くなつてきた。

宗教

宗教は印度教が最も盛で、マホメット教がこれに次ぎ、この國に興つた佛教は却つて滅亡に近く、たゞ僅かに

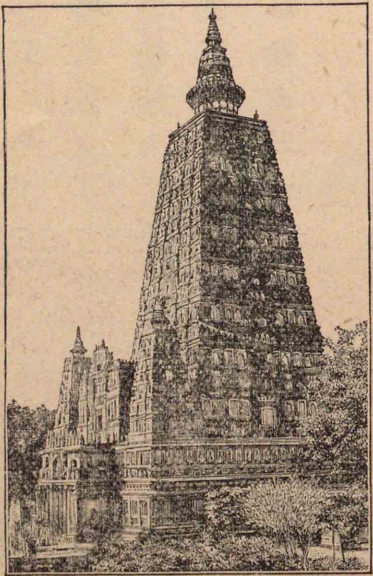


ボンベール

都邑

セーロン島に命脈を保つてゐるに過ぎない。デカン高原は地味が肥え、綿の産額が多く、西海岸のボンベールは、その集散地であると共に、その輸出港として名高い。東海岸のマドラスは、商業の中心をなしてゐる。セーロン島はイギリスの直轄植民地で、茶の産額が多く、コロンボはその輸出港で、我が歐洲航路の汽船もこゝに寄港する。

印度平野は印度の最も重要な部分で、殊にガンジス川下流の地方には、米の産額が極めて多い。カルカッタはガンジス川の三角洲上にある港で、印度平野の咽喉に當り、貿易が盛である。アッサム地方は茶の産地として知られてゐる。首府デリーはガンジス川上流の地方にあり、ベナレスは印度教の靈地として名高く、ガヤには釋迦成道の遺蹟がある。インダス川上流の



ガヤ

我が國との  
關係

パンジブ地方は、元來乾燥地であるが、大規模な灌漑工事によつて、小麥の大生産地と化した。ラホールはその集散地である。印度に興つた佛教は、昔支那朝鮮を経て我が國に傳はつたので、我が國は其の影響を受けることが頗る多かつた。印度と我が國との貿易は極めて盛で、アメリカ合衆國及び支那に次ぐ重要な取引先である。我が國の紡績の原料となる綿の約半分は、印度から送られてゐる。その他、銑鐵、ゴム等を我が國へ輸出し、我が國からは綿織物、綿絲、絹織物等を輸入してゐる。

### 八 その他の地方

中アジヤ  
コーカシヤ

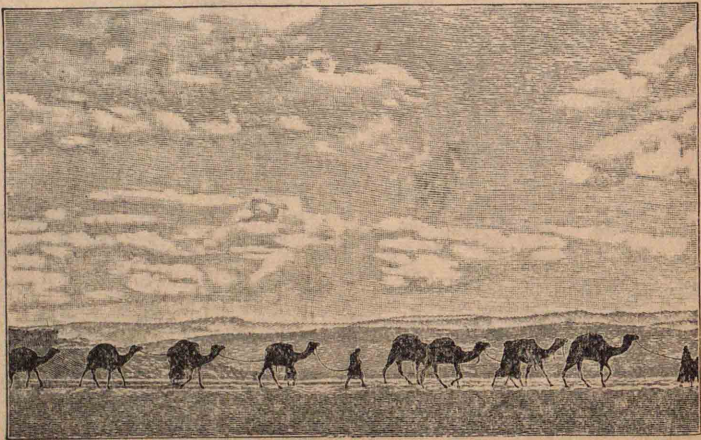
中アジヤは、シベリヤの南西に接するロシアの領土である。北部は一般に草原で、牧畜が行はれ、南部は概ね沙漠であるが、諸川の沿岸には穀物、綿等を産する。タシケントはこの地方の中心都市である。この地方の西にある裏海は、鹹湖で、世界最大の湖である。コーカシヤは、その中央に横たはつてゐるコーカサス山脈によつ

南西アジヤ

て、南北の二部に分たれてゐる。南部は丘陵が多く、農産物を出し、北部は平野が多く、畜産物を出してゐる。また裏海の沿岸にあるバクー附近では石油を多く産し、その輸出港は黒海沿岸のバツームである。

アラビヤ

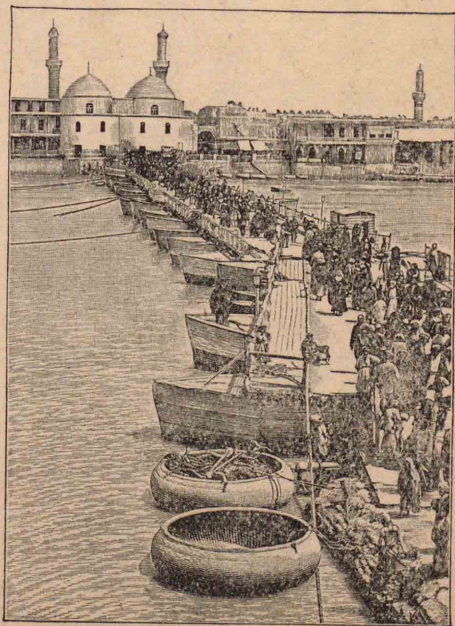
南西アジヤとは、小アジヤ、アラビヤの二半島及びその附近の地方を總稱するものである。これらの地方は一般に高原で、雨が極めて少いから、土地が荒れて草原や沙漠が多い。たゞチグリス、ユーフラテス兩川の流域には、メソポタミヤ平野がある。アラビヤは高原で、氣候が甚だしく乾燥してゐるから、一般に沙漠が多く、産業が盛でない。メッカはマホメットの生地、メヂナはその墓が



アラビヤの沙漠の商隊

あるところとして知られてゐる。紅海の入口にあるアデンは、イギリスの領地で、交通の要地である。

イラクはメソポタミヤ平野の地を占め、今は荒廢してゐるが、昔は文化の大いに開けた地方である。バグダードはこの國の首府である。



(ドーダグバ) 川スリグチ

地中海の東岸に沿うてゐる地方は、シリヤ、パレスティン、ケラクの三國に分れてゐて、共に世界大戰の結果獨立した國であるが、國勢が振るはないので、イギリスやフランスの委任統治を受けてゐる。パレスティンはユダヤ人の國で、首府エルサレムはキリストの墓があるので名高い。

トルコは小アジヤ半島の地を占めてゐる共和國でもと廣大な領

シリヤ地方  
トルコ

土を持つてゐたが、世界大戰の結果その大部分を失つて、今は國勢があまり振るはない。しかし、近時専ら國勢の振興に意を用ひてゐる。アンゴラはその首府である。スタタリはコンスタンチノブルの對岸にある港で、バグダード鐵道は、この地を起點として、バグダードを経てペルシヤ灣に達するものである。

イラン地方は、ペルシヤ、アフガニスタン、ベルチスタンの三國に分れてゐる。

ペルシヤはイギリスの勢力の下にある獨立國で、多く石油を出してゐる。テヘランはその首府である。我が公使館もこゝにある。

アフガニスタンはロシアの勢力の下にある獨立國で、カブールはその首府である。

ベルチスタンはイギリスの領土であつて、印度帝國の一部となつてゐる。

アフガニスタン  
ベルチスタ

## 第二 ヨーロッパ洲

面積・地勢

ヨーロッパ洲はその面積凡そ九百九十萬平方キロメートルで、アジア洲のほゞ四分の一に過ぎず、且特に廣大な高原や雄大な山脈はないが、地形は甚だ複雑である。

本洲は海岸線の出入が極めて多く、また島嶼に富んでゐる。北方にはスカンデナヴィヤ半島が長く横たはつて、内にボスニヤ灣、バルチック海を擁し、西には北海を隔ててイギリス諸島がある。南西にはイベリヤ半島があつて、大西洋と地中海とを分ち、その南端はアフリカに迫つて、地中海の咽喉をなしてゐる。南にはイタリヤ・バルカンの二半島があり、イタリヤ半島は地中海の中部に突出して、バルカン半島と共にアドリヤ海を圍み、バルカン半島の南東部は小アジア半島に迫つて、地中海と黒海とを分離してゐる。

本洲の南西部から南部にかけては、ピレネー山脈、アルプ山脈をは

高地一

じめ、あまたの山脈が横たはり、その間には處々に盆地や平野があり、地勢が高峻で、且複雑な地域をなしてゐる。

アルプ山脈は最も高峻で、弓形を畫がいてイタリヤ半島の北部を廻り、本洲の重要な多くの川の水源をなし、山脈中のあまたの高峯は、四時氷雪を戴いて聳えてゐる。中でも、モンブランは高さ四千八百メートル、本洲第一の高山である。

アルプ山脈の一派は、北東に延びてカルパチヤ山脈となり、他の一派は、イタリヤ半島に延びてアペニン山脈となる。またアルプ山脈の支脈には、アドリヤ海の東岸を走るものもある。本洲の東部から北部・中部にかけては、ウラル山脈とスカンデナヴィヤ半島とを除く外、概ね平野で、殊に東部のロシヤ平野は廣大である。アルプ山脈及び附近の山地から發源する主な川には、ダニユーブライン・エルベ等がある。ダニユーブ川は、東の方、黒海に入り、ライン・エルベの二川は、北の方、北海に注ぐ。本洲第一の大川ボルガ川をはじめ、ドニエブル川

氣候

その他の大川は、東部の平野に多く、緩やかに流れて、南の方、裏海または黒海に注ぎ、或は北の方、北極海に注ぐ。本洲の大西洋沿岸は温和な海洋性氣候を呈し、近海にはメキシコ灣流が流れてゐるので、緯度の高いスカンデナヴィヤ半島の北西岸の如きも、冬季氷結することがない。しかし、西から東に行くに従つて雨量も減じ、寒暑の差も甚だしくなる。また南部の地中海沿岸地方は、夏は暑くて雨が少く、冬は温暖で雨が多く、いはゆる地中海性氣候を呈してゐる。

産業

本洲は各種の産業が著しく發達してゐる。農業は中部から東部の平野に最も盛で、麥類、麻、甜菜等の産が多く、南部は種々の果實に富み、また養蠶に適する。甜菜の多いドイツでは甜菜糖の製造、葡萄の多いフランスでは葡萄酒の醸造が盛で、その産額は各世界に冠絶してゐる。また牧畜も廣く各地に行はれ、馬・牛・羊等の飼養が甚だ盛である。然るに本洲は人口が稠密であるから、これらの農産物・畜産

高地一

交通

物は、なほその需要を充たすに足らず、他洲から供給を仰ぐ額も多い。しかし、中部西部の地方は鐵・石炭等の鑛産物に富み、また原料を得ることも容易であるから、工業が著しく發達し、イギリス・ドイツ・ベルギー・フランスにかけての地方は、世界の工業地帯で、その製品を盛に各地に輸出する。産業の發達につれて、各種の交通機關がよく備り、鐵道網の密なことは、遙かに他の大陸にまさり、殊に中部西部に著しい。ロンドン・パリ・ベルリン・モスコイ等を中心として、あまたの鐵道の幹線が各地に通じ、アルプ山脈の如きも、あまたの大トンネルを穿つてこれを横斷してゐる。川は一般に水量が豊かで、流が緩やかであり、且、互に運河によつて連絡してゐるものが多いから、交通の便を助けることが大きい。海岸または川の下流には良港が多く、殊に北海や大西洋方面には大商港として有名なものが多く、世界の交通・商業の中心になつてゐる。我が歐洲航路の汽船も、これら諸港に航路を通



じてゐる。また近年航空機の利用も著しく、その發達は各大陸中第一で、大都市間には盛に定期飛行が行はれ、交通は益、便利迅速となつた。

住民

本洲は住民の數、五億に近く、人口の密度は六大洲中第一である。住民の大部分はヨーロッパ人種に屬し、概ねキリスト教を信じてゐる。その中、スラブ族は東部中部に、チュートン族は中部西部に、ラテン族は西部南部に多い。ヨーロッパ人種に次ぐものはアジア人種で、主として北部と南東部に居住してゐる。南東部に住するものには、マホメット教を信ずるものも少くない。本洲は教育が一般に普及し、また學術技藝の研究も盛で、文明が著しく進歩してゐる。

區分

本洲には大小あまたの獨立國があつて、その數三十を超えてゐる。東部から北部にかけては、ロシヤ(ソビエト聯邦)、フィンランド、ポーランド、スウェーデン、ノルウェー等があり、中部にはドイツ、オーストリア、ハンガリー、チエッコ、スロバキヤ、デンマーク、オランダ、ベルギー、スイ

高地一

ス等がある。また西部にはイギリス、フランス、イスパニヤ、ポルトガル等があり、南部にはイタリア、ユーゴスラビヤ、ルーマニヤ、ブルガリヤ、ギリシヤ等がある。その中、イギリス、フランス、ロシヤ、オランダ、ベルギー、イタリア等は、他洲に廣い領土を有してゐる。

二 ロシヤ

ロシヤはヨーロッパ洲の東半を占め、南は裏海、黒海、北は北極海に達し、面積は約四百二十萬平方キロメートル、人口は約一億一千万で、アジア洲にある領土を合すれば、地球上の陸地の約六分の一に及び、イギリスに次ぐ世界第二の大國である。しかし、位置、氣候等に恵まれないため、文化の發達は、イギリス、フランス等の諸國に比して著しく遅れてゐる。

ロシヤは、もと強大な帝國であつたが、世界大戰中に革命が起つて國體が改まり、國號をソビエト聯邦と稱するやうになつた。

東部のウラル山脈を除いては、地勢一般に平坦で、中央からやゝ北

位置・面積  
人口・政治

地勢・氣候

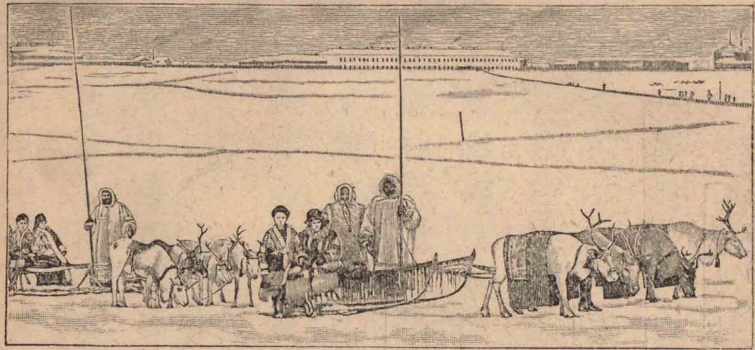
に偏して低いバルダイ丘陵がある外は、廣大な平野が連なつてゐる。ボルガ川をはじめ、主な川は、皆平野を流れてゐるので、交通灌漑

共に便利である。

この國は地域が廣く、海洋の影響が少いから、氣候はヨーロッパ洲中最も大陸性で、寒暑の差が甚だしく、北極海・バルチック海の沿岸は、冬季大部分氷結する。また川も氷結して航行は不可能となるが、氷上は却つて便利な交通路として利用される。

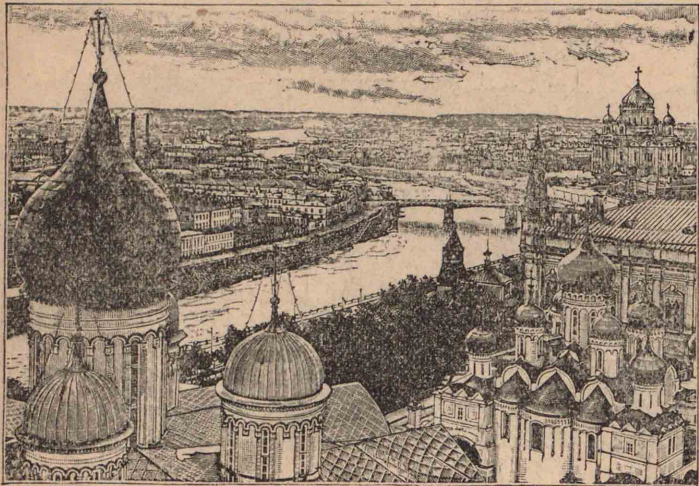
南部は一般に雨が少く、廣い草原帯をなしてゐる。この草原帯は重要な農業地帯である。殊にボルガ川以西の黒土地方と呼ばれるところは、極めて肥沃な土地で、麥類の産額が甚だ多く、ヨーロッパ洲の穀物倉と稱せられてゐる。

産業



川の冬のヤシロ

モスコ

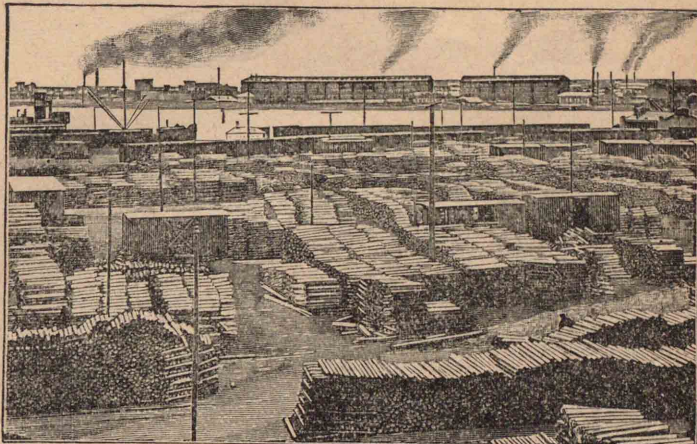


モスコ

また亞麻・大麻・甜菜・煙草・馬鈴薯等の産も著しい。草原が廣いので、牧畜もよく行はれ、羊・牛・馬等の飼育が盛である。草原帯の北には廣大な森林帯があり、その面積はこの國の約三分の一を占め、木材の産

出が多く、主要輸出品となつてゐる。鑛物の埋藏も多いが、採掘はまだ進んでゐない。中部と南部からは石炭・鐵・岩塩等を産し、またウラル山脈中には金・白金・寶石等の産地がある。工業はあまり發達してゐないが、近時その振興に意を注ぎ、製鐵・紡績・製粉・製革等の工業が次第に盛になつてきた。しかし、動力が不足なため、製造品はなほ輸入を仰いでゐるものが多い。されば、この國の貿易は原料品を輸出し、製造品を輸入し

都邑



材木出輸のドーラゲンニレ

この國は、極東に於て我が國及び滿洲國と領土を接してゐるので、政治交通産業等に關係は深い、取引は盛でない。



麥小出輸のサッデオ

八十萬、交通の大中心地で、農産物の集散が多く、また工業が盛である。我が大使館もここにゐる。レニ

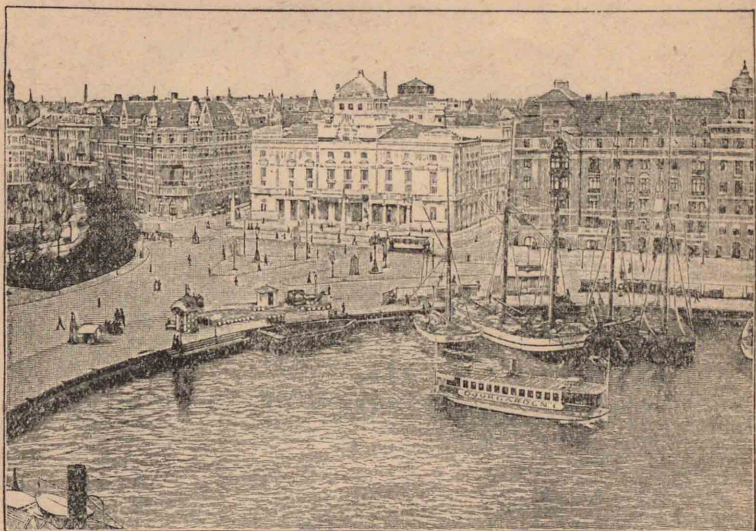
ングラードはもとの首府で、バルチック海の一灣に臨み、工業貿易が盛である。灣は水が浅いから、運河によつて外港のクロンスタットに通じてゐる。キエフは南西部の中心都市で、製糖製革等の工業が行はれてゐる。黒海沿岸のオデッサは、黒土地方の穀物の輸出港として名高い。

### 三 スウェーデン・ノルウェー・デンマーク

スウェーデン・ノルウェーの二國は、共にスカンディナヴィヤ半島にある立憲王國で、半島の脊梁をなすスカンディナヴィヤ山脈を境として、東部はスウェーデン、西部はノルウェーである。地勢は一般に高原性で、平地が少い。

スウェーデンは地勢がやゝ緩やかで、南部の平野は農業に適する。森林が廣く分布してゐて、木材の産出が多く、豊富な水力を利用して、用材、パルプ、紙、マッチ等の製造が盛である。またこの國は鐵鑛の産に豊み、製鐵業も興つてゐるが、鑛石のまゝイギリス、ドイツ等に輸出

ノルウェー



ムルホクットス

される額も多い。首府ストックホルムはバルチック海の沿岸にあつて、商業交通の中心地をなし、我が公使館もこゝにある。ゲーテボルグは國の南西部に位し、木材・マッチ・バルブ等の輸出が多い。

ノルウェーは山地が直ちに海岸に迫つて絶壁をなし、あまたの峽灣が相連なつてゐる。また近海にはたらにしん等の魚類が極めて多く、ベルゲンその他を中心地として、漁業が盛に行はれてゐる。この國は耕地が少く農産物には乏しいが、木材の産が多く、水産物と共に重要輸出品となつてゐる。首府をオスロといひ、國の南部にあつて、重要な門戸

をなしてゐる。

スウェーデン・ノルウェーの二國の住民は人情が淳朴で、古來航海の技に長じてゐる。

デンマーク

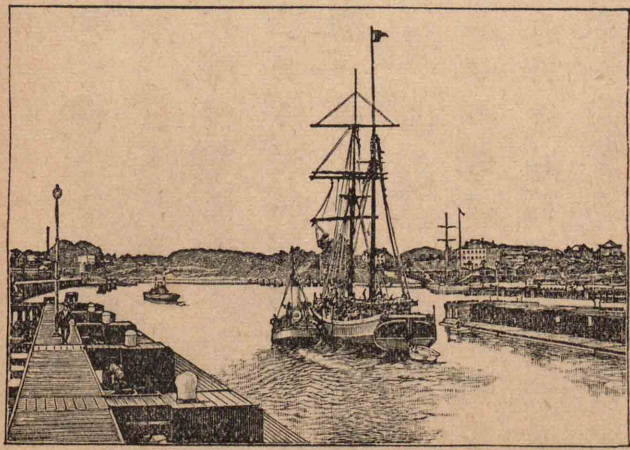
デンマークは、バルチック海と北海との間に突出してゐるユトランド半島の大部分とその附近の島々とを占める立憲王國で、スカンジナビヤ半島と相對して、バルチック海の門戸に當つてゐる。土地は低平であるが、地味はあまり肥沃でない。しかし、國民の勤勉によつて土地の經營が行届き、農業・牧畜がよく行はれ、殊に牧畜は盛で、バターはこの國の最も重要な輸出品となつてゐる。首府コペンハーゲン

#### 四 ドイツ

位置・面積・人口

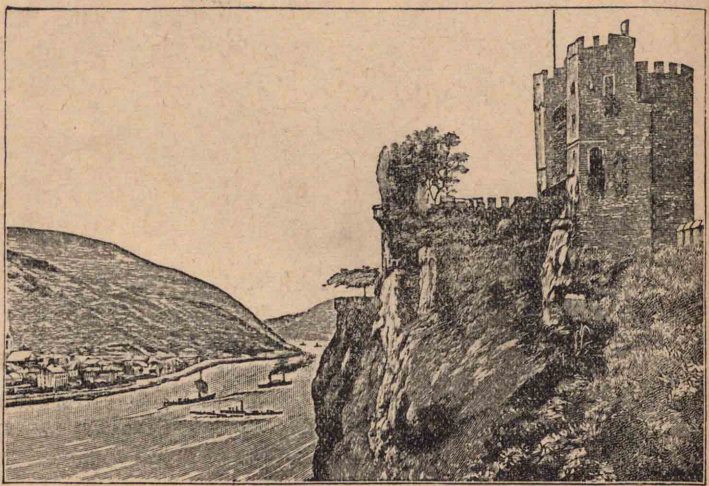
ドイツは、ヨーロッパのほゞ中央にあつて樞要な位置を占め、多くの國々と境を接してゐるので、列國との關係が複雑である。面積は約四十七萬平方キロメートル、人口は約六千四百萬である。

南部は山脈が連亘して高地帯をなしてをり、北部は北ドイツ平野で、ヨーロッパ大平野の一部をなし、バルチック海、北海に臨んでゐる。川は多く源を南部の高地帯に發し、ダニューブ川を除く外は、皆北流して北部の平野を貫き、北海またはバルチック海に注いでゐる。ライン、ウーゼル、エルベ、オーデル等の諸川が、その主なものである。これらの川は概ね水量が多く、且、運河によつて互に通じてゐるので、舟運の便が多い。殊にライン、ダニューブの二川は、北海と黒海とを連絡する重要な水路をなしてゐる。またユトランド半島の頸部にあるキール運河は、バルチック海と北海とを結ぶ重要な連絡路である。



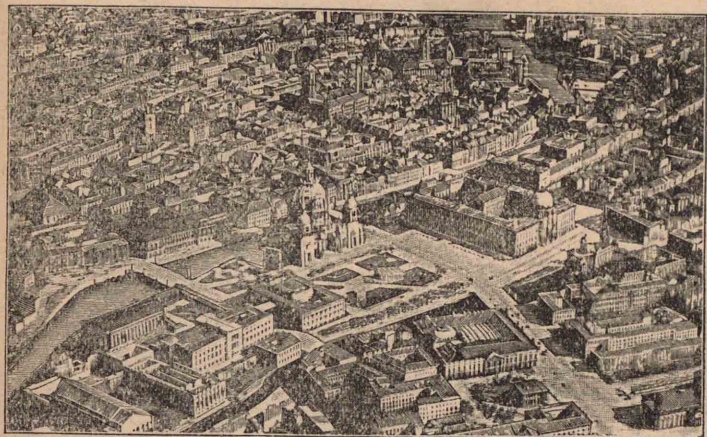
キール運河

ライン川は源をアルプ山脈の中央に發



ライン川

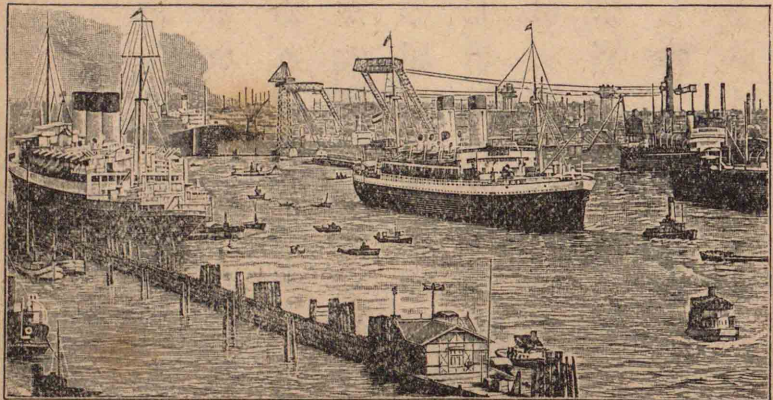
し、スイスを出て、ドイツ、フランスの國境を流れ、南ドイツ山地の一部を横斷して平野に出で、オランダに入つて北海に注ぐ。その山地を横ぎるところは、名高いラインの峽谷で、兩岸の崖上には處々に古城が聳え、風景が甚だ美しい。南部が高く、北部が低い地形であるから、南北兩地方の氣温の差は甚だしくない。北海沿岸やライン川地方は、大西洋の影響をうけて、殊に温和である。ただ冬季は、西から東に行くに従つて、次第に低温となる。地味氣候が良好でないところが多いが、國民の努力と學術の應用によつて、農業は著しく發達してゐる。麥類、馬鈴薯は主要な農産



物で、国内到るところに作られてゐる。また甜菜、ホップの産も多く、甜菜糖及びビールの産額は、共に世界第一である。氣候の温暖なライン川流域には、葡萄の栽培が盛で、葡萄酒の産出が多い。また牧畜も行はれ、牛、豚、羊等が飼養されてゐる。森林は面積が廣く、殊に南部の山地には、有名な美林がある。鑛産物はこの國の最も重要な産物で、ライン川下流地方のルール炭田をはじめ、國內處々に石炭を産し、その産額はアメリカ合衆國、イギリスに次いでゐる。また鐵鑛の産出も多く、スウェーデン、フランス、スペイン等から輸入される鐵鑛と共に製鐵の原料となるので、鐵鐵の産額は、アメリカ合衆國に次いで世界第二位にある。その他、岩塩、カリ塩等

政治その他

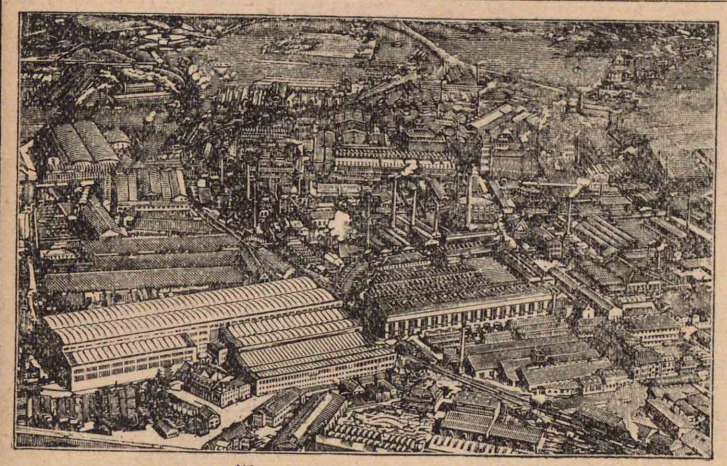
の産額も多い。また紡績、染織、機械の製造、化學工業等、各種の工業が著しく發達し、中でも、化學工業は世界に冠絶してゐる。これらの製品は多量に外國に輸出されて、この國の重要な貿易品となつてゐる。我が國へは鐵類、化學製品、機械、毛絲、染料等を輸出する。ドイツはもと強大な帝國で、大いに軍備を整へ、また海外に廣い領土を獲得し、國勢が甚だ盛であつたが、世界大戰のため、國民思想が急變して共和政體に改まり、また本國の一部と海外領土の全部とを失つた。その上、新たにポーランドが興つたため、國の北東部は中斷されて飛地となつてゐる。本國に於て割讓した領土の中には、豊富な鐵鑛産地と石炭産地とがある。随つて國勢が一



ハルビン

都邑

時大いに衰へたが、今や國民の勤儉と努力によつて、各種の産業が再び盛となり、國力が回復に向つてゐる。



場工鐵ブッルク

ンドンに次ぐヨーロッパ第二の大都會で、市街が壯麗であり、交通學術商工業の中心地である。我が大使館もこゝにある。ハンブルグは世界屈指の貿易港で、諸外國と航路が相通じ、船舶の出入が頻繁である。ドレスデンは美術工藝を以て知られ、ライプチヒは學都で、出版業を以て著として聞えてゐる。ライン川下流の地方には大きな炭田があり、また附近には鐵鑛の産出も多く、この國第一の工業地帯

高地

をなし、數多の工業都市が相連なつてゐる。クルップ鐵工場で有名なエッセンも、この地方にある。ケルンはライン川に臨む繁華な港で、水陸交通の要地を占めてゐる。

### 五 オランダ

オランダはドイツの北西に連なる立憲王國で、その面積は我が臺灣よりやゝ小さい。人口は約八百萬である。

位置・面積・人口  
地勢・産業・住民・その他

國の殆どすべては、ラインの川口附近からゾイデル海沿岸一帯の低地で、沿海の地方には、海面より低いところが多く、天然の砂丘と人工の堤防とによつて海水の浸入を防ぎ、また風車や動力ポンプ等で低地の水を巧に排水してゐる。ラインその他の川は、あまたの運河によつて縦横に相通じ、水運は甚だ便利である。地勢氣候は農業、牧畜に適し、農業では麥類、馬鈴薯の産が多く、また園藝が盛である。牧畜では牛羊の飼養が行はれ、バター、チーズを産し、その輸出額も少くない。この國はラインの川口を占めてゐて、中央ヨーロッパ諸國



ムダルテスマア

の門戸に當り、且、海外に廣い領土を有してゐるので、貿易が盛んで、商船の數も多い。住民は、古來航海商業の術に長じ、一時歐洲諸國を壓して世界の海上權を掌握したが、今は昔日の勢がない。しかし、まだ海外にはオランダ領東印度のやうな廣い領地をもつてゐる。

ハーグは政廳の所在地で、我が公使館もこゝにある。アムステルダムは古くから榮えた港で、この國第一の都會であつて、ダイヤモンド細工と造船業とで名高い。ロッテルダムは有名な貿易港である。

### 六 ベルギー

ベルギーはオランダの南に隣る立憲王國で、面積はオランダより

位置・面積・人口

都邑

地勢・産業・交通

やゝ小さい。人口は約八百萬であるが、その密度は世界第一で、一方キロメートルにつき二百六十六人である。

地勢は、南東の丘陵地から北西の北海沿岸の低地へ次第に低下してゐる。この低地には農業が盛で、麥類、亞麻、甜菜等を産し、牛馬の牧畜もまた行はれてゐる。この國には、ドイツのライン川流域に連なる大炭田があり、また鐵鑛の産も多いので、製鐵をはじめ、機械、ガラス、織物、レース等の製造が盛に行はれ、ヨーロッパ洲に於ける大工業地帯の一をなしてゐる。諸種の工業製品の輸出、原料品の輸入が多く、貿易も盛である。國內は鐵道網が極めて密で、川や運河の利用と相待つて、水陸の交通が自在である。

首府ブルッセルは國の中央に位し、市街が華麗で小パリーの名がある。我が大使館もこゝにある。アンベルスは貿易が甚だ盛で、中歐の門戸をなし、我が汽船の航路に當つてゐる。

### 七 スイス

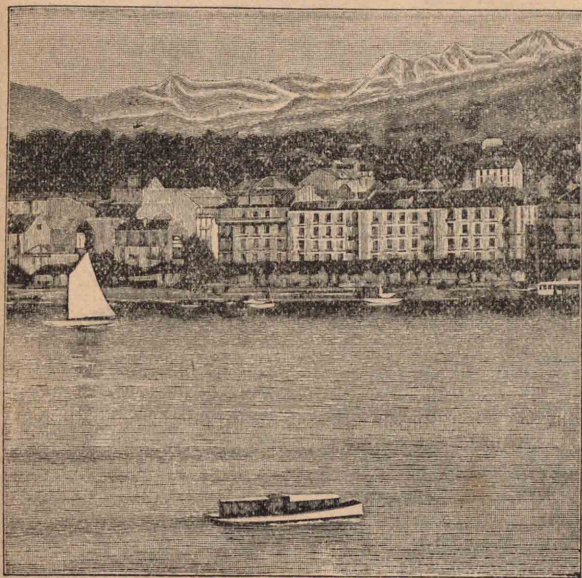
都邑



位置・面積・  
地勢・交通

スイスは、ドイツ・フランス・イタリア・オーストリアの諸國間に介在する共和國で、面積はほゞ我が九州に等しい。國內にはアルプ山脈が連亘して、四時氷雪を戴くあまたの高峯が聳え、溪谷には瀧があり、湖があり、風景が美しいので、世界の公園と稱せられる。地勢は一般に峻嶒であるが、交通上極めて重要な位置に當つてゐるから、交

産業・都邑



通の便が備り、この國を通過する數條の鐵道幹線は、大トンネルを穿つてアルプ山脈を横斷してゐる。また諸名山には登山鐵道もよく發達してゐる。  
一 地勢が峻しいから、農業には適し  
グないが、牧畜が行はれ、乳製品の産  
が多い。また水力が豊富であるか  
ら、これを利用して工業が興り、綿

位置・面積・  
人口

製品・絹織物・時計・機械等の製造が盛である。我が國へは時計・機械等を輸出する。首府ベルンは國の西部にあつて、我が公使館もこゝにある。ジュネーブ湖に臨むジュネーブは、國際聯盟本部の所在地である。チューリヒは工業が盛で、綿織物・絹織物を産する。

### 八 イギリス

イギリスはヨーロッパ洲の西部に位し、大ブリテン島・アイルランド島及びその他の島々から成立つてゐる。面積は約三十一萬平方キロメートル、人口は約四千九百萬である。大ブリテン島はイングランド・ウェールズ・スコットランドの三部に分たれ、アイルランド島は、北アイルランドとアイルランド自由國とから成つてゐる。

地勢・氣候

スコットランドは高原性で、景色のよい湖沼が多く、海岸線は出入が極めて著しい。イングランドの南東部は廣い平野で、テムス川をはじめ、水量の豊かな流の緩やかな川が多く、水運の便がよい。アイルランド島は周圍に低い山地を廻らし、中央は沼澤の多い平野を

農業

なしてゐる。この國は島國であり、且、メキシコ灣流の影響を受けて氣候が温和である。概して西風が多いので、西海岸は東海岸よりも雨が多く、冬は一般に霧が深いので名高い。氣候がよく、地味も農業に適してゐるので、もとは農業國であつたが、商工業が盛になるにつれて、住民は多く都市に集り、農業に従事するものが少くなつたため、國産の食料品だけでは多數の國民を養ふことができず、海外から多量の輸入を仰いでゐる。

牧畜



羊牧のスリギイ

肥沃な平地は概ね牧場となつてゐて、羊の牧畜が多く行はれ、また牛馬の良種をも産する。しかし、なほ羊毛・肉類等は國內の需要を充たすに足らないから、主として海外の植民地から多量に輸入してゐる。

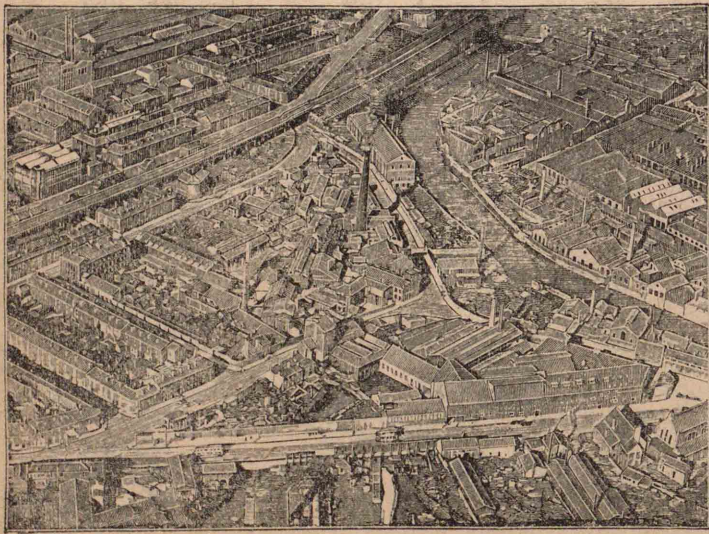
水産業

鑛業

この國は、古來漁業の盛な國で、沿岸及び近海には漁場が多い。殊に北海は世界の三大漁場の一で、にしん<sup>シム</sup>たら<sup>トラ</sup>等の漁獲物が甚だ多い。石炭の産出が極めて多いので、これを動力とする各種の工業が盛である。また鐵鑛の産出も多く、且、その産地が石炭の産地と接近してゐるので、早くから製鐵業が興り、外國からも鐵鑛を輸入して盛に製鍊してゐる。

工業

この國の最も重要な工業は纖維工業で、綿羊毛の紡績業、織物業の盛なことは、世界にその比を見ない。纖維工業の原料たる綿羊毛、麻その他多量の原料品や粗製品は、その大部分を海外の植民地や諸外國から輸入

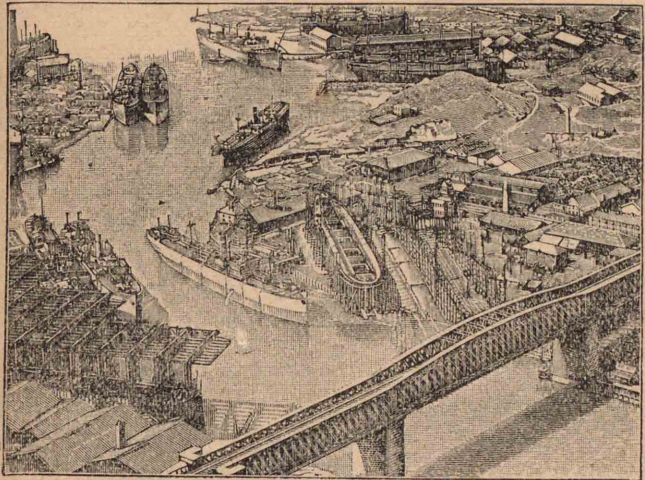


(ドルーイフェシ) 地業工のドンラゲンイ

交通・貿易

し、これを精製して再び輸出してゐる。外國貿易は極めて盛で、各國の貨物はこの國に集り、世界商業の中心地となつてゐる。イギリスの商船は、本國と植民地、並びに諸外國との貿易に従事するのみならず、また世界各地の交通運輸にも從事してゐて、海運業の盛なことは世界第一である。随つて、造船業もまた極めて發達してゐる。

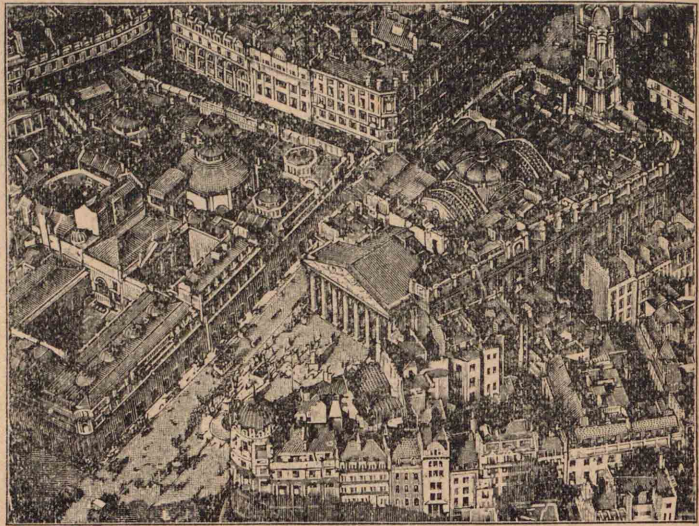
政治その他



イギリス東岸の造船所

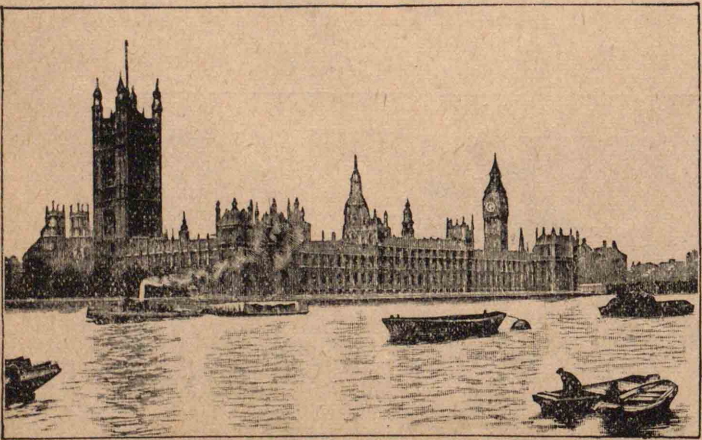
我が國との取引關係も甚だ深く、機械、鐵類、毛織物、綿織物等を我が國に輸出し、絹織物、メリヤス製品、罐詰、豆類、生絲等を我が國から輸入する。この國は、三百年來、海上に活躍し、地球上到るところに領土を獲得し、その總面積は世界陸地の四分の一に近く、總

都邑

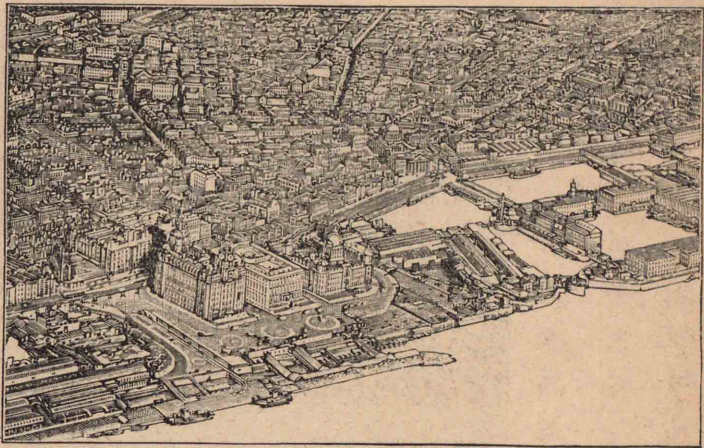


首府ロンドンにはテムス川の下流に跨り、接續市を合はせると人口約八百萬、ニューヨークと並び稱せられる大都會で、商

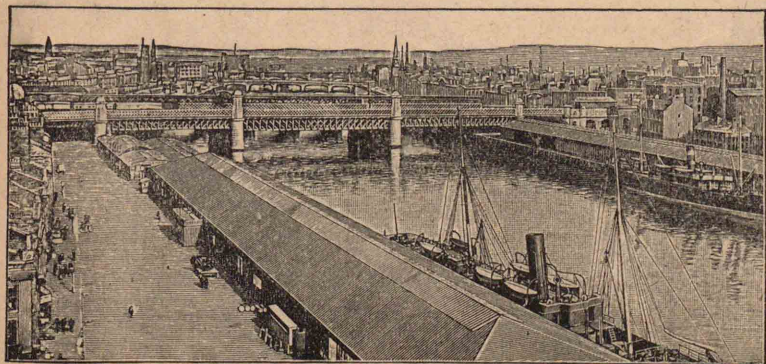
ロンドン  
人口は四億四千萬に達する。随つて、この國の國語である英語は世界各地に使用されてゐる。この國は立憲王國で、立憲政治のよく行はれてゐる。ことは、世界の模範とされてゐる。



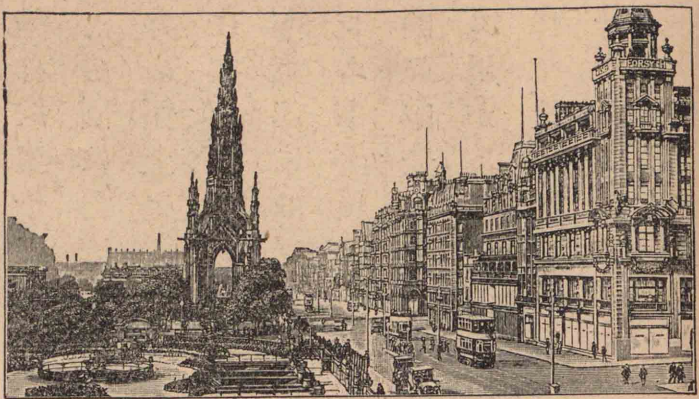
テームス川と國會議事堂



して名高く、イギリス海峡に臨むポーツマスは、この國第一の軍港である。カーヂフは石炭の輸出港として名高い。リバプールはロンドン



ーゴスラダ



ラバンデエ

イルランド自由國の首府で、イギリス本國との貿易が行はれ、ビールの醸造が盛である。

### 九 フランス

位置・面積  
人口・政治

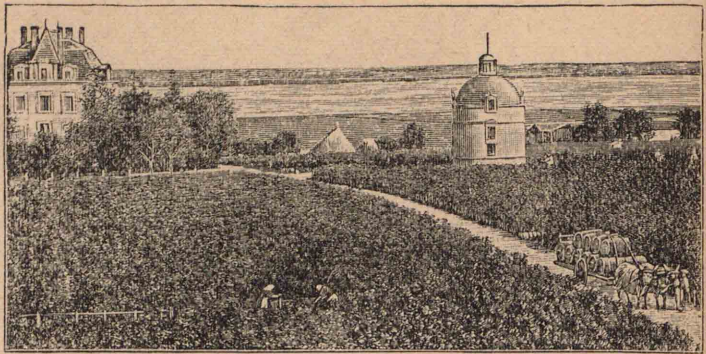
フランスは西部ヨーロッパの中央に位し、西は大西洋、南は地中海、ピレネー山脈、東はアルプ山脈、ライン川等が自然の境界をなしてゐるが、たゞ北部のベルギーとの國境にのみ平野が連なつてゐる。面積は約五十五萬平方キロメートル、人口は約四千二百萬である。この國は、古來幾度か政體を變じたが、今は共和國となつてゐる。海外の領土を合はせると、その面積の廣大なことはイギリス、ロシアに次ぎ、世界の第三位にある。

地勢

南東部にはアルプ山脈が高く聳えて、イタリヤと境し、南部にはピレネー山脈が連なつて、イスパニヤとの國境をなしてゐる。國の中央からや、南にオーベルニュ高原が横たはり、その東にローヌ川がある。ローヌ川は、オーベルニュ高原とアルプ山地との間を流れて、地中海に注いでゐる。北部から西部にかけての地方は、概ね平野であつて、セーヌ、ロアール、ガロンヌ等の大きな川は、皆源をオーベルニュ高原に發し、この平野を潤して大西洋に注いでゐる。これら

高地一

氣候・産業



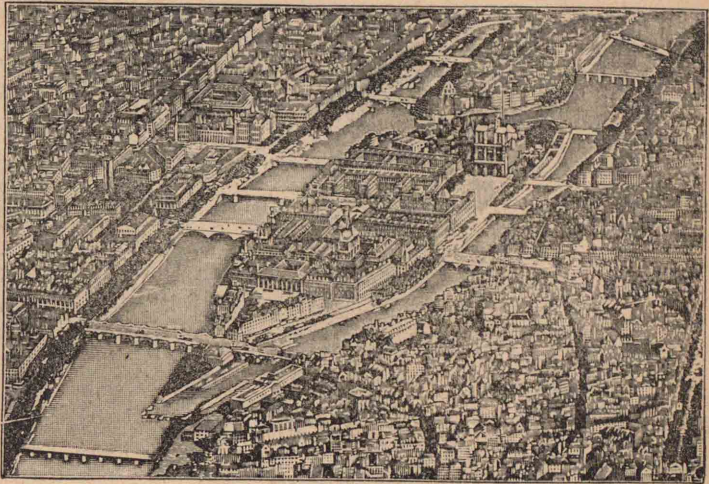
(近附—ドルボ)畑葡萄のシラフ

の川は、大抵流が緩やかで、水量があり、川口はラッパ状に開いてゐて良港を有するものが多く、且、互に運河によつて連絡されてゐるので、船の交通が甚だ便利である。

氣候は大西洋の影響を受けて一般に温和で、雨量に富んでゐる。その上、耕地が廣く、地味が肥沃であるから、農業が盛で、小麥の産出が多く、馬鈴薯、甜菜も少くない。葡萄は各地に栽培され、この國の葡萄酒は品質産額共に世界第一である。南部の地中海方面には、オリーブ、レモン等の果實を産する。ローヌ川流域地方には、養蠶が行はれ、絹織物業が盛である。

北東部に於ては、世界大戰の結果、ドイツから豊富な炭田と鐵鑛の大産地とを得、またその他の地方にも鐵鑛、石炭の産地があつて、製

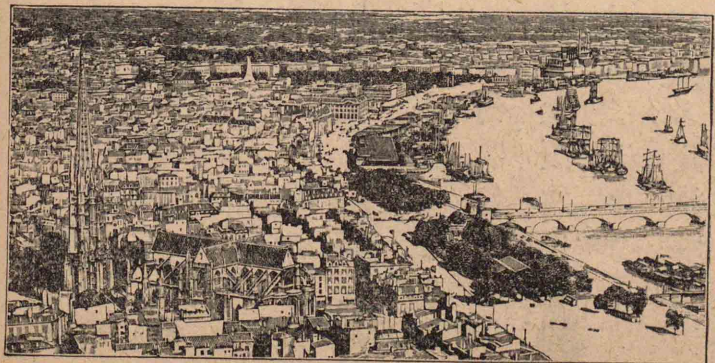
貿易



鐵業も發達してゐる。またこの國の美術工藝は殊に優秀を以て聞えてゐる。なほ國民が勤儉で、貯蓄心に富んでゐることは、産業の發達と相待つて、この國の富強を來してゐる。貿易は甚だ盛で、織物、化學製品、鐵等の製造品を輸出し、羊毛、綿、石炭

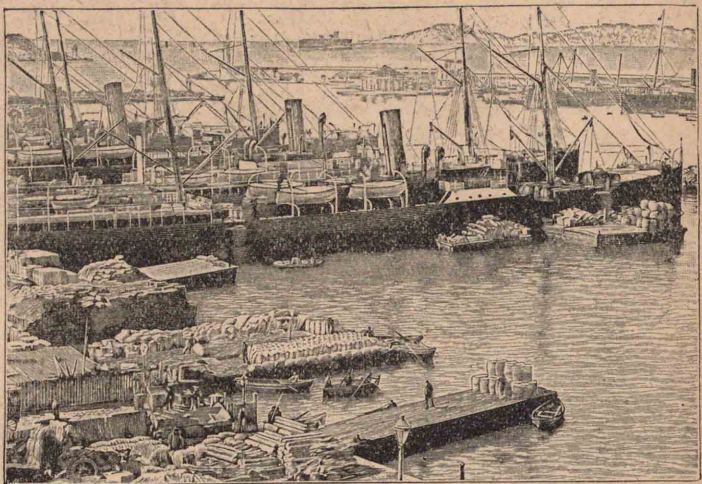
都邑

穀物等の原料品、食料品を輸入する。我が國からは生絲、絹織物等を輸入してゐる。首府パリはセーヌ川に跨り、人口約三百萬



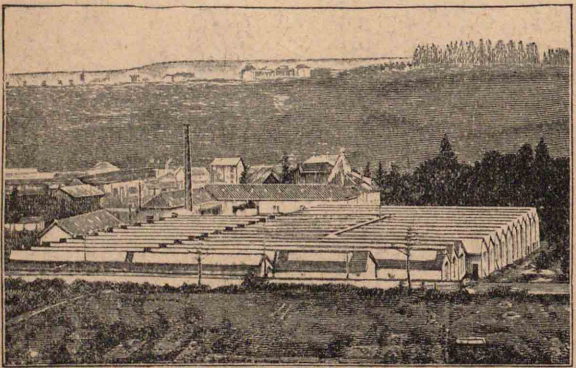
一 ド ル ボ

高地



ユ ー セ ル マ

を有するヨーロッパ第三の都會であり、この國の文化の中心で、また商工業及び交通の中心をなしてゐる。市街の美は世界第一と稱せられ、我が大使館もこゝにある。ルアーブルはパリーの門戸で、イギリス、アメリカ合衆國との取引が盛である。リールは織物業の一中心地である。ポルドーは貿易港で、多く葡萄酒を輸出し、リオンはこの國第一の貿易港で、我が歐洲航路の汽



場工物織絹の近附ンヨリ

船もこゝに寄港する。その東方に續く海岸は、氣候が温暖で、風景が美しい。

### 十 イスパニヤ・ポルトガル

位置・地勢・氣候・産業  
 イスパニヤはイベリヤ半島の大部分を占め、ポルトガルはこの半島の西部の大西洋に面する一地方を占めてゐる。共に共和國である。この半島内には數多の山脈があつて一大高原をなし、川は概ね大西洋に注いでゐる。高原は雨量が少く、寒暑の差が甚だしいが、南東部は地中海性氣候である。農業は一般に振るはないが、灌漑の便があるところは小麦、玉蜀黍等を産する。また沿岸の地には葡萄、オリーブ等がよく生育し、葡萄酒、オリーブ油の産額は、コルクの産額と共に著名である。また高原地方には羊の牧畜が盛である。この半島は各種の鑛物に富み、北部には鐵、南部には銅、水銀、鉛等が多いが、鐵鑛の外、採掘がまだ盛でなく、鐵鑛は多く鑛石のまゝで輸出されてゐる。

高地

都邑

イスパニヤの首府マドリードは、中央高原の上に位し、交通の要路に當り、半島第一の都會である。我が公使館もこゝにある。バルセロナは地中海の貿易港で、コルクの輸出が多く、また紡績工業が盛である。ポルトガルの首府リスボンも天然の良港で、我が公使館もこゝにある。

ジブラルタル

ジブラルタルは、イベリヤ半島の南端に突出した小半島で、イギリスに屬し、その位置が軍事上重要であるから、堅固な要塞がある。

### 十一 イタリヤ

イタリヤはヨーロッパ洲の南部に位する立憲王國で、地中海に突出したイタリヤ半島とシシリヤ、サルデニヤの二大島及びその他の小島とから成つてゐる。面積は約三十一萬平方キロメートル、人口は約四千一百万である。

位置・面積・人口

地勢・氣候

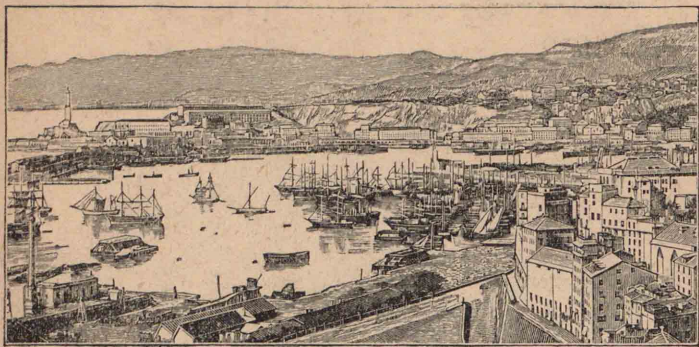
國の北境には、アルプ山脈が高く聳えて、天然の障壁をなしてゐる。アルプ山脈の西端から起るアペニン山脈は、半島のほとんどの中央を走

産業・貿易

つて脊梁をなし、更に延びてシシリー島に及んでゐる。またこの山脈に沿うて火山脈が通つてゐて、その中にベスビヤス・エトナ等の名高い火山がある。北部のアルプ山脈とアペニン山脈との間には、ロンバルヂヤ平野があつて、この國第一のポー川がこれを貫き、アドリヤ海に注いでゐる。半島部は一般に地中海性氣候を呈するが、北部の平野はやゝ大陸性である。

ロンバルヂヤ平野は、農業が盛であるばかりでなく、工業もまた發達してゐるので、國內で最も産業の盛な地域となつてゐる。農産物としては、繭・小麥・玉蜀黍・米等が主なもので、生絲の産額はヨーロッパ第一である。半島部及び島嶼には、オリーブ・蜜柑等を産する。葡萄は各地に栽培され、葡萄酒の産額は、フランスに次いで世界第二位である。石炭・鐵・石油のやうな現代の工業に必要な鑛産物には乏しいが、アルプ山脈地方から得られる水力の利用と豊富な勞力によつて、近時工業が次第に勃興し、生絲工業・人造絹絲工業をはじめ

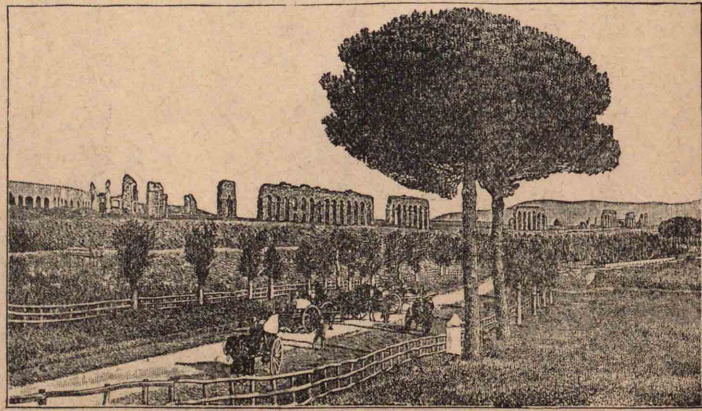
都邑



アノゼ

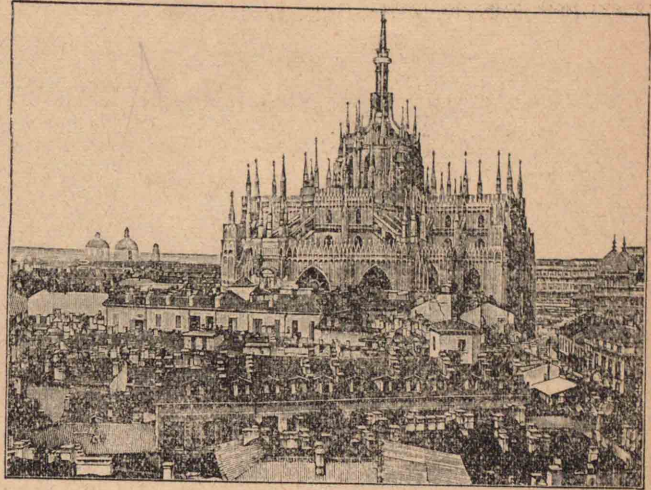
として、綿羊毛等の紡績業・織物業が發達してきた。またこの國は貿易も盛で、各種の織物類の外、生絲・果物・オリーブ油・葡萄酒等を輸出し、穀物及び綿羊毛・石炭等を輸入してゐる。

首府ローマは半島の中央に位し、昔の大口ローマ帝國の首府であつたところで、廣大な建築物をはじめ、歴史上の遺物が甚だ多く、ローマ法王の宮殿がある。また我が大使館もこゝにある。フロレンスは、古來美術の中心地で、有名な美術館がある。

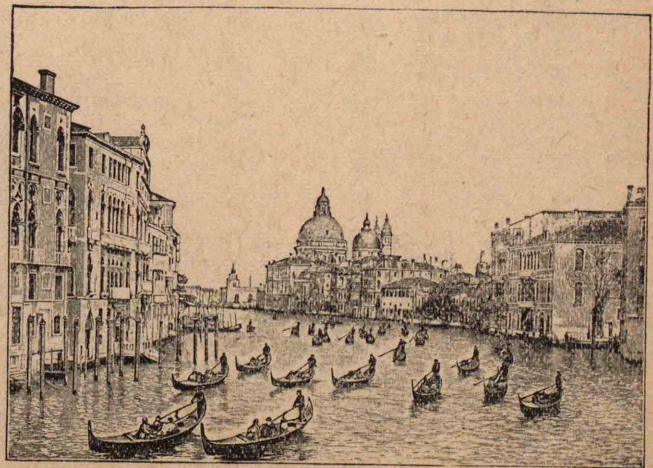


外郊のローマ





ネーブルス  
は、同名の灣  
に臨む繁華  
な商港で、ベ  
スビヤス火  
山を望み、風  
景が甚だ美  
しい。北部の  
ゼノアはイ  
タリヤ第一



ス ニ ベ

の貿易港である。ロンバルヂヤ平野は人口が稠密で、都邑が多い。ミランはその中心都會で、生絲絹織物の工業が甚だ盛である。またアドリヤ海の北西隅には、西にベニス、東にトリエスト、フィウメ等の港市がある。

### 十二 その他の地方

オーストリア

オーストリアは、ドイツの南、スイスの東にある共和國で、もとハンガリーと聯合して強大な一帝國を組織してゐたが、國內に利害相反するあまたの異民族を含んでゐたため、世界大戦に當つて革命が起り、これらの異民族は各獨立し、オーストリアとハンガリーとが分離した外、或はチッコスロバキヤとなり、或はユーゴスラビヤ、ポーランド、イタリヤ、ルーマニヤ等の一部となつた。

ハンガリー

オーストリアの首府ウィーンは、ダニユーブ川に沿ひ、市街が壯麗で、學術交通の中心地である。我が公使館もこゝにある。  
ハンガリーはオーストリアの東にある王國で、その大部分はダニユーブ川流域の平野で、農業がよく行はれ、小麥、玉蜀黍、甜菜等の産に富み、また牛、羊等の牧畜も盛である。  
住民の多數は、マジールと稱するアジア民族である。首府ブダペストはダニユーブ川に跨り、交通、商業の中心になつてゐる。

チエツコス  
ロバキヤ

チエツコスロバキヤは、オーストリア及びハンガリーの北にあつて、その東部はカルパチヤ山脈の南斜面に屬し、農業、牧畜が主な産業である。西部はエルベ川上流の盆地で、地味が肥沃で農産物が多い。またこの地方には、鐵、石炭の産が多く、水力の利用も便利であるから、製鐵、紡績をはじめ、ガラス、陶器等の工業が盛である。

住民の大部分は、スラブ民族に屬するチエツク及びスロバク民族で、世界大戰の結果、オーストリアから獨立して共和國を建設したのである。首府ブラーグは西部の盆地の中央にあつて、商工業が盛である。我が公使館もこゝにある。ピルゼンはビールの名産地である。ポーランドは、チエツコスロバキヤの北東にある共和國で、東はロシア、西はドイツに接してゐる。

土地の大部分はロシア、ドイツに連なる平野で、農業がよく行はれ、麥類の産が多く、また南西部には豊富な炭田があり、カルパチヤ山脈には石油、岩塩等を産する。この國は、世界大戰の結果、舊ロシア領

ポーランド

高地

の一部の外、ドイツ、オーストリアの舊領土の一部を併せて獨立國となつたのである。首府ワルソーは交通の要地で、我が公使館もここにゐる。

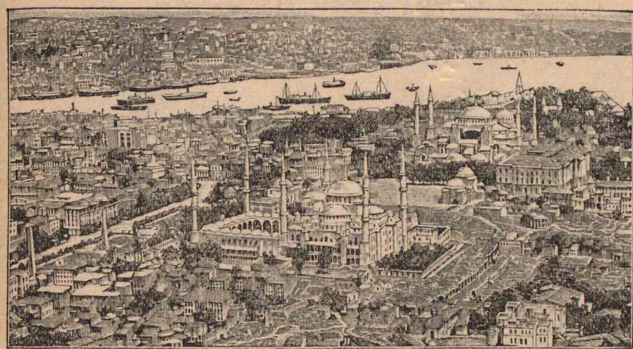
フィンランド

フィンランドは、スカンデナヴィヤ半島の東に接する共和國で、住民の大部分はアジヤ人種に屬し、世界大戰の結果、ロシアから獨立した國である。一帯の平野が連なつてゐるが、氣候が寒く、地味が瘠せてゐるから、農業は盛でない。森林は廣く分布し、木材、バルプを多く産する。ヘルシングフォルスはその首府である。

バルカン半島諸國

バルカン半島は、ヨーロッパ洲のほぼ中央から南方、地中海へ突出した大半島である。半島の南部は、海岸線の出入が著しいギリシヤ半島で、その沿岸は、多島海を隔てて相對する小アジヤ半島の沿岸と共に、島嶼に富んでゐる。内地には山脈が連互して、大部分は山地であるが、北部のダニユーブ川流域にはやゝ廣い平野があつて、この半島中、主要な農業地となつてゐる。

この半島は地勢が複雑で、且、アジア洲とヨーロッパ洲との接觸地帯に當つてゐるので、諸種の民族が割據し、あまたの小國に分れて互に相争ひ、歐洲騒亂の基をなしたことが少くない。ギリシヤは半島の南部を占めてゐる共和國で、ブルガリヤ、ルーマニヤ、ユーゴスラ



ルブノチンタスニコ

ビヤ、アルバニヤの諸王國は、その北方にある。これら諸國の中、ユーゴスラビヤは世界大戰の結果、新たに興つた國である。バルカン半島の主な産業は農業、牧畜である。北部には小麦、玉蜀黍等の産が多く、南部には葡萄、オリーブ、蜜柑等の果物がよく生育し、また煙草を産する。牧畜は羊、山羊の飼養が盛で、鑛産物ではルーマニヤの石油が著名である。ルーマニヤの首府ブカレストは、北部平野の中心都市で、我が公使館もこゝにある。

ユーゴスラビヤの首府ベルグラードは、ダニューブ川の沿岸にあつて、ブルガリヤの首府ソフィヤと共に交通上樞要な地を占めてゐる。ギリシヤの首府アテネは國の南東部に位し、歴史上有名なところで、古代の遺蹟が多く、また我が公使館の所在地である。國の北部のサロニカはバルカン半島中部の門戸をなしてゐる。ヨーロッパの東端にあるコンスタンチノブル（スタンプール）は、ボスポロス海峡に臨んで黒海の關門をなし、交通の要地を占めてゐる。我が公使館もこゝにある。

### 第三 アフリカ洲

#### 一 總説

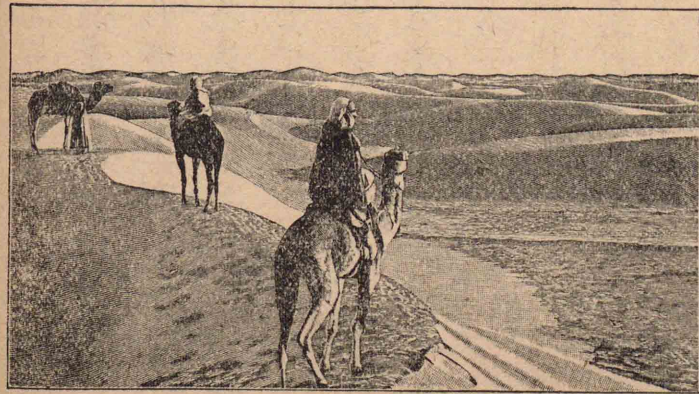
面積  
地勢  
アフリカ洲は世界第二の大陸で、その面積凡そ三千萬平方キロメートル、アジア洲の三分の二に當つてゐる。  
本洲は海岸線の出入が極めて少く、また近海は島嶼に乏しいが、た

だ南東部にはモザンビク海峡を隔てて、マダガスカルの大島がある。

本洲は一般に高原状で、南部が高く、北部に行くに従つて次第に低くなつてゐる。東部の山地には火山脈が通つてゐて、あまたの高い火山が聳え、地勢が高峻である。中でも、キリマヌジャロ山は海拔六千メートルを超え、本洲第一の高峯である。またこの山地には、大小あまたの湖水が南北に連なつてゐて、ナイル川、コンゴ川等の源をなしてゐる。この外、ザンベジ、オレンジ、ニゼール等の大きな川があるが、多くはその下流に急流や瀧があつて、海との連絡が悪い。

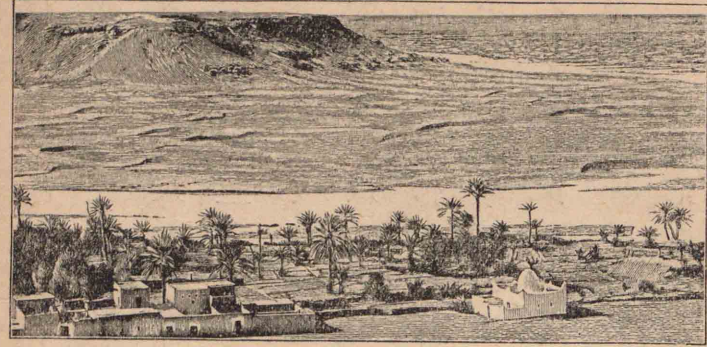
氣候・産業

本洲は赤道の南北にわたつて、大部分が熱



サハラ沙漠

帯にあるから、一般に氣候が甚だ暑く、森林草原、沙漠等が廣く横たはり、象、獅子、犀、ジラフ、駝鳥、河馬、鱷等の動物が多い。中部は雨量が多く、熱帯性の密林が連なつてゐるが、南または北に行くに従つて、雨量が次第に減じて、草原や沙漠となつてゐる。



オアシス

殊に北部のサハラ沙漠は、その面積、本洲の約二割を占め、概ね不毛の高原であるが、たゞ處處にオアシスがあつて、泉が湧き、植物が繁茂してゐる。これらのオアシスをたどつて、隊商は駱駝を使役して、沙漠地方を旅行する。近年この沙漠の一部には自動車路が開かれた。本洲の南北の兩海岸地方は、氣候が比較的良好で、概ね農業、牧畜に適し、本洲中、開發が最も進んでゐる。殊にナイル川沿岸には綿、穀物、煙草等の栽培、南アフリカ聯邦には牛、羊等の飼養

住民

が盛である。またこの聯邦には鑛業も發達してゐる。本洲の住民は、總數凡そ一億四千萬、アフリカ人種に屬するものとヨーロッパ人種に屬するものがある。アフリカ人種に屬するものは、總數の三分の二を占め、その皮膚が暗黒色であるから、黒人と稱せられ、多くは中部以南に住み、概ね未開である。ヨーロッパ人種に屬するものは、もと主として北部の地方に住居してゐたが、その後、南部やその他の海岸の要地にも居住するやうになり、殆ど本洲全部の政治・産業等の實權を握るに至つた。

交通

イギリス・フランス等の諸國は本洲の開發に努めてゐるが、本洲の大部分は地勢・氣候等の關係上、今なほ交通が不便で、鐵道の敷設も甚だ遅れてゐる。しかし、エジプト・南アフリカ聯邦及びその他の海岸地帯や川の沿岸には、交通の便が漸く開け、産業が興り、都邑も發達してきた。またエジプト・南アフリカ聯邦を連結せんとする本洲の縦貫鐵道の工事も、大いに進んできた。海上交通も次第に發達に

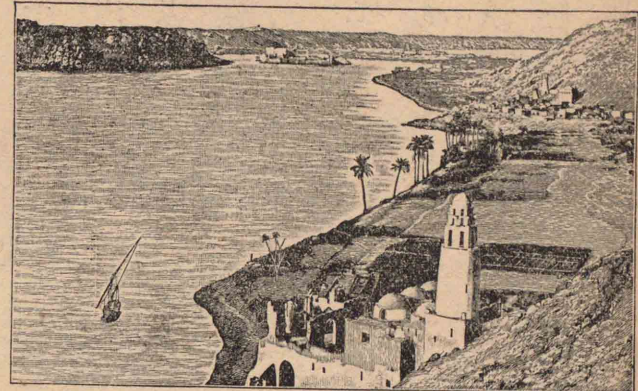
區分

向ひ、近年各大陸への航路も開かれるやうになつた。スエズ地峽にあるスエズ運河は、長さ約百六十キロメートル、世界の海上交通に大きな便利を與へてゐる。本洲の大部分は、イギリス・フランス・ベルギー等、ヨーロッパ諸國の領土となつてゐる。獨立國としてはエジプト・エチオピア(アビシニヤ)・リベリヤの三國があるが、いづれも國勢が振るはない。南部のイギリス領南アフリカ聯邦、北西部のフランス領アルゼリヤは列國の領土中、開發の最も進んだ地方である。

二 エジプト

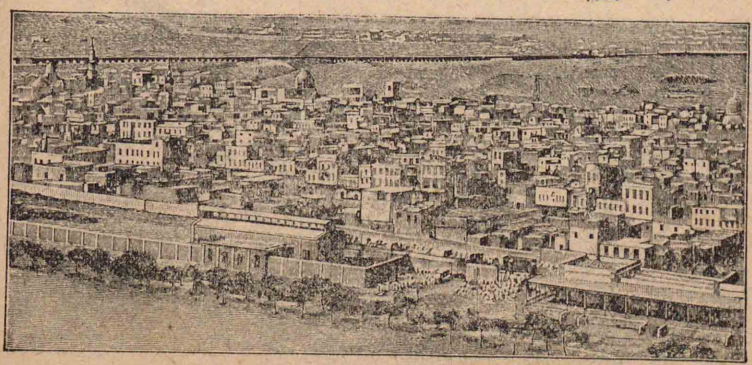
エジプトは、ナイル川の下流地方を占める立憲王國で、古代は文化の盛であつたところである。面積は廣大であるが、大部分は沙漠で、人口の密集してゐるのは、僅かにナイル川の沿岸とその三角洲に限られてゐて、その數約一千五百萬である。ナイル川は、毎年夏季上流地方に多量の降雨があるので、下流地方ではその水が定期に増

位置・面積  
人口・産業  
政治



ナイル川沿岸の一景

水氾濫して、上流から運んで来た土砂を沿岸に堆積する。それ故、沿岸の低地は地味が極めて肥沃で、住民の大部分は農耕に従事し、綿穀物・甘蔗等の農産物が多い。實にナイル川はエジプトの生命の源泉ともいふべきである。我が國へは綿を輸出し、我が國からは綿織物を輸入する。



カイロ

この國は久しくトルコの支配に屬し、後イギリスの勢力下にあつたが、近年その獨立を承認されるに至つた。しかし、今なほ、各種の利權

高地一

都邑

はイギリスに掌握されてゐる。

首府カイロはナイル川の下流に沿ひ、アフリカ第一の大都會で、農産物の集散地である。その附近には、ピラミッド・スフィンクス等、古代文明の遺物が多い。地中海に臨むアレキサンドリヤは、古來著名な商港である。ポートサイドはスエズ運河の北端にあつて、交通の要路に當り、我が汽船もこゝに寄港する。

### 三 南アフリカ聯邦

南アフリカ聯邦はアフリカ大陸の南部にあつて、面積約百二十萬平方キロメートル、人口約八百萬である。

地勢は一般に高原性であるが、海岸に近く連なつてゐる山脈が、印度洋から來る濕氣をさへぎり、内地は雨が少いので、草原または沙漠となつてゐるところが多い。オレンジ川は源を東部の山脈に發して西に流れ、大西洋に注いでゐる。

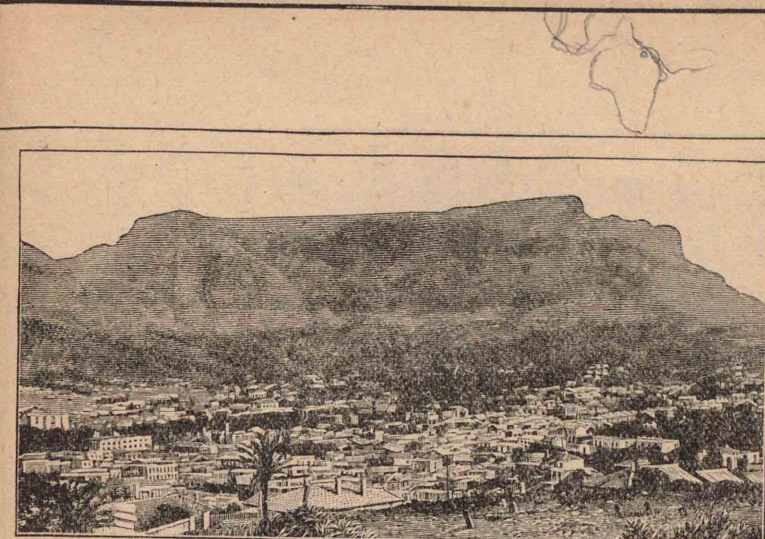
南東の海岸地帯は雨が多く、氣候が温和であるから、農業が盛で、小

位置・面積・人口

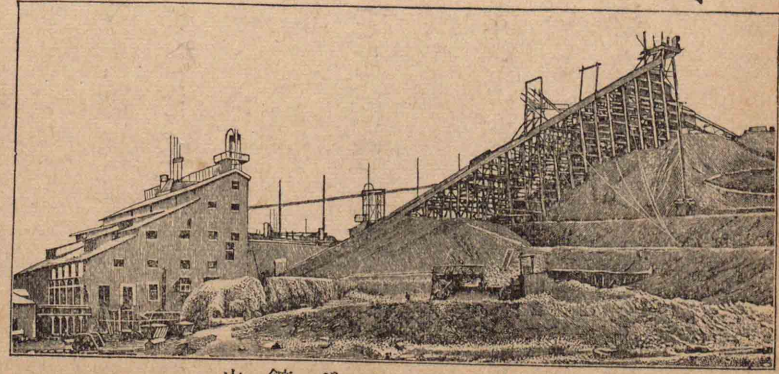
地勢・氣候

産業・交通

麥・玉蜀黍・甘蔗等の栽培が行はれてゐる。高原地方では一般に羊・牛・山羊等の牧畜が行はれ、



羊毛・肉類・皮革等を多く産する。また駝鳥を飼育し、その羽毛を輸出する。鑛業は最も重要な産業で、金・ダイヤモンドは、共にその産額が世界第一である。また石炭・銅等をも産する。我が國からは綿製品・絹織物を輸入してゐるが、彼我の貿易はまだあまり盛でない。産業の開発に伴なつて、鐵道も次第に各



山鑛ドンモヤイダ

高地一

住民

都邑

地に開通するやうになり、アフリカに於て最も鐵道の發達した地方となつてゐる。近年我が國との交通が開け、我が國の汽船もダーバンやケープトタウン等に寄港する。

もこの地方には、オランダ人が植民して勢力を得てゐたが、その後に移住したイギリス人が、次第にオランダ人を壓迫して、遂に統治の實權を握り、イギリスの自治植民地となるに至つた。住民は原住民である黒人が最も多い。

ケープトタウンは喜望峯の北、テーブル山の麓に位し、聯邦の最も重要な門戸で、交通・貿易が盛である。また聯邦の議院はこゝにある。ダーバンやポートエリザベス等の諸港もまた重要な門戸である。キンバリーはダイヤモンドの産地として知られ、ヨハネスブルグは金産地の中心地である。またプレトリアは聯邦の行政廳の所在地である。

### 四 その他の地方

エチオピア  
アルゼリヤ  
モロッコ  
ベリヤ  
ギン領  
コン

エチオピアはエジプトの南東にある獨立國で、本洲中最も高峻な地域を占め、コーヒー・ゴム・象牙等の産がある。アルゼリヤは本洲の北西部にあつて地中海に面し、フランスの重要な領土で、土地の開墾が進み、農業、牧畜が盛である。モロッコはその西に隣り、大部分フランスの保護地で、畜産物に富んでゐる。リベリヤは本洲の西部に位置する獨立國で、嘗てはアメリカ合衆國に於て奴隷となつてゐた黒人が解放されて建てた國である。ベルギー領コンゴはコンゴ川流域にあつて、ゴム、象牙等を産する。

### 第四 北アメリカ洲

#### 一 總説

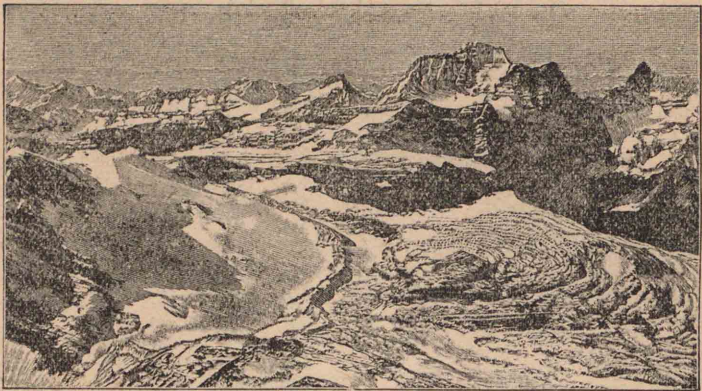
北アメリカ洲は面積約二千二百萬平方キロメートル、ヨーロッパの二倍にあまり、アジア洲、アフリカ洲に次ぐ世界第三の大陸である。

面積

高地一

地勢

本洲の東西兩部は山地で、その間に大平野を挟んでゐる。



(ダナカ)部北の脈山ーキッロ

西部の山地は、雄大なロッキー山脈とこれに並ぶ數條の山脈とから成り、その西側は急斜面を以て太平洋に迫つてゐるが、東側は傾斜が緩やかで、次第に大平野に移つてゐる。東部の山地はアパラチャ山脈と稱し、西部の山地に比べると規模が小さく、高さも低い。中部の大平野は、北は北極海岸、南はメキシコ灣岸に及び、その北部には湖沼が多く、南部にはミシシッピ川が流れてゐる。太平洋岸は大きな出入に乏しいが、大西洋と北極海との沿岸は出入が著しくて、南にメキシコ灣、北にハドソン灣が灣入してゐる。メキシコ灣の東方には西印度諸島があり、ハドソン灣以北にも大小あまたの島があつ



氣候

て、中でもグリーンランド島は世界第一の大島である。また本洲の北西隅にはアラスカ半島が突出し、その南西端はアリューシャン列島に連なつて、アジア洲との間にベーリング海を抱いてゐる。本洲は寒帯から熱帯にわたる廣大な地域を占めてゐるから、氣候は、ところによつて著しい相違がある。一般に太平洋岸は大西洋岸より温和で、内地は寒暑の差が甚だしい。また西部の山地には雨が少く、中には沙漠となつてゐるところもある。

産業

北東部地方及び太平洋岸には、木材の産が多い。中部の大平野中、カナダの南部以南は土地がよく開けて、農業、牧畜が大規模に行はれてゐる。農産物の主なものは、本洲原産の玉蜀黍、煙草、他の大陸から移植された小麥、綿等であり、畜産物には牛、豚、羊、馬等がある。また北部の大西太平洋岸には、水産物が豊富である。鑛産物に至つては、六大洲中の随一であつて、鐵、石炭、石油、銅、金、銀等の採掘が盛である。かく各種の食料品、原料品の産額が莫大であるから、工業、商業の發

高地

交通

達もまた著しいものがある。

鐵道は中部以南によく發達し、殊にその東半部に於て著しい。海上交通は大西洋方面が最も盛で、ヨーロッパ洲に通ずる船の往來が頻繁である。なほ近來は自動車、飛行機の利用も頗る盛である。

住民

住民の總數は約一億七千萬に達し、その中、最も多いのはヨーロッパ人種で、他は黒人、アジア人、アメリカインディアン、エスキモー等である。

區分

北部にはイギリス領カナダがあり、中部にはアメリカ合衆國がある。つて、共に廣大な面積を占めてゐる。北西隅のアラスカはアメリカ合衆國に屬し、また南部にはメキシコ共和國及び數個の小共和國がある。本洲中、國勢の最も盛なのはアメリカ合衆國である。

二 カナダ

カナダは北アメリカ洲の北半部を占め、南はアメリカ合衆國と境し、北西はアラスカと接してゐる。面積は九百二十萬平方キロメー

位置・面積・人口

地勢

トルもあるが、南部を除くと、一般に寒冷不毛の地が多いので、面積の割合に人口は少く、約一千万に過ぎない。

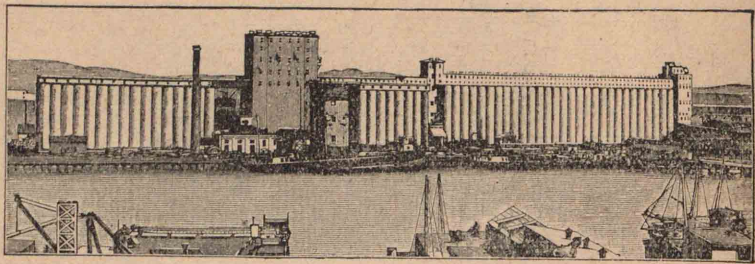
カナダは地勢上、西部中部、東部の三部に分たれる。西部はロッキー山脈を主軸とする山地で、地勢が一般に高峻である。中部は廣大な平野で、湖沼が多く、アメリカ合衆國との境には、スペリオル・ヒューロン・エリー・オンタリオ等の大湖が相連なつてゐる。東部は臺地狀のラブラドル半島とアパラチャ山脈の北東部とから成り、この間をセントローレンス川が流れてゐる。

太平洋岸には小出入が多く、大西洋岸にはハドソン灣が深く灣入し、北極海附近には大小あまたの島がある。

高緯度にあるから、氣候は概して寒冷で、北部には凍原が廣く連なり、北極海の諸島は氷雪に鎖されてゐる。やゝ温和なのは、南東部と暖流の影響を受ける太平洋岸とである。雨量は太平洋岸に多く、他は一般に少い。

氣候

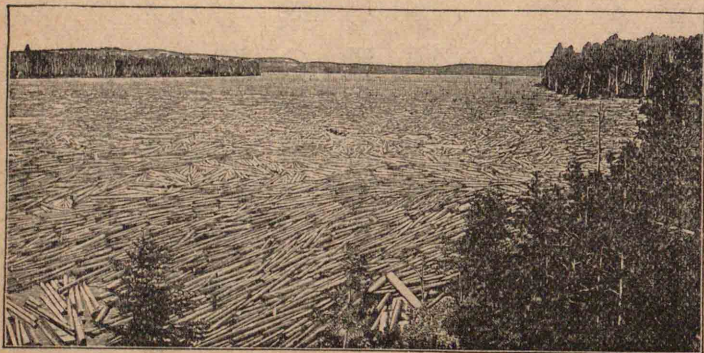
産業



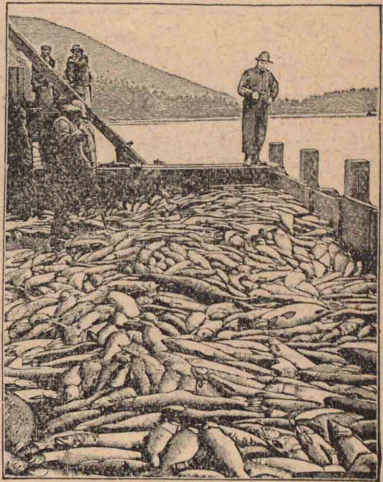
小麦の倉庫

農業はカナダの主要な産業で、南部の平野に盛である。農産物の主なものは麥類で、中でも小麦の産が頗る多い。森林は廣く分布し、殊に南東部及び西部には、大森林があつて多量の木材を産し、川や湖沼を利用して工場に送り、盛にパルプを製造してゐる。また森林中には毛皮獸が多い。牧畜は牛羊等が主で、ロッキー山麓地方に盛である。

南東部のニューファンドランド島の近海は、一帯の淺瀬で、魚族が群集し、世界の三大漁場の一として知られ、たらにしん等の漁獲が甚だ多い。また太平洋



材流



獲漁のけさ

利用と運輸の便とが相待つて、製粉製材パルプ製造等の工業が著しく發達してゐる。

輸出品は小麦、小麦粉、紙、木材、パルプ等、輸入品は石炭、砂糖、毛織物、機械等で、取引はイギリス本國、アメリカ合衆國との間に最も盛である。我が國はこの國から小麦、鉛、木材、パルプ等を輸入し、我が國からはこの國へ絹織物、生絲等を輸出する。

鐵道はアメリカ合衆國との國境附近に最も發達し、二條の大陸横斷鐵道があつて、大西太平洋兩岸を連絡してゐる。海上の交通は、バ

貿易

交通

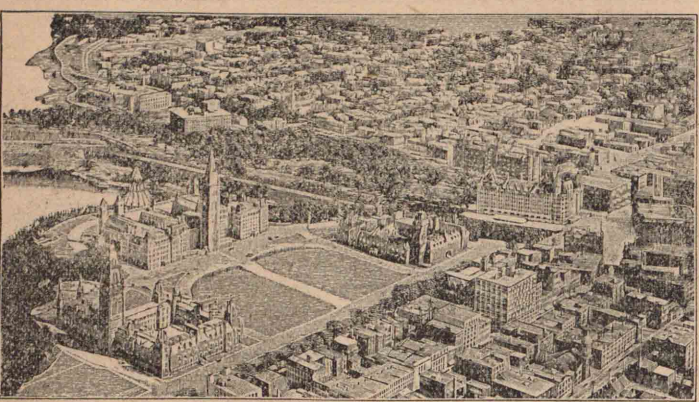
高地

住民

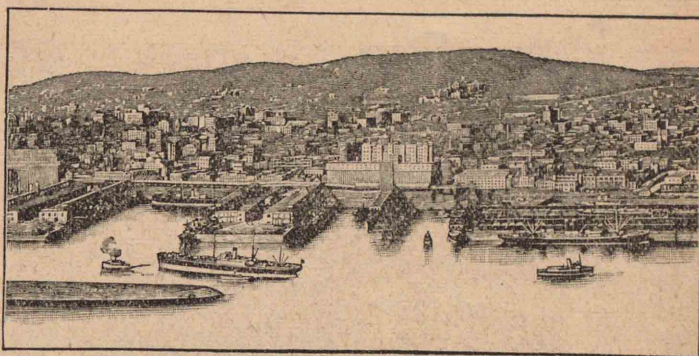
都邑

ンクーパーとモントリオールとが、それ／＼アジヤ洲とヨーロッパとへの主な門戸となつてゐる。

カナダはイギリスの重要な自治植民地で、住民はイギリスから移住したものの子孫が最も多く、フランス人の子孫がこれに次ぎ、北部には少數のエスキモーがある。

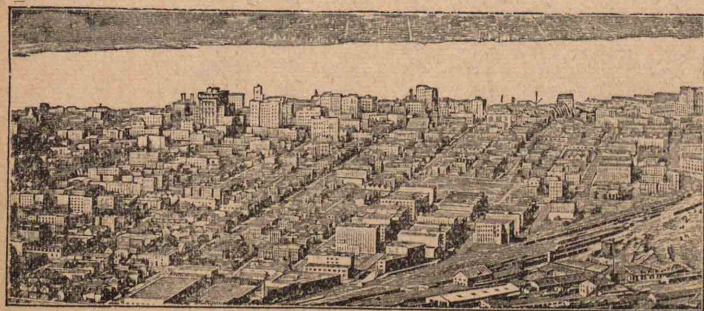


セントローレンス川の沿岸は早くから開けたところで、都邑が多い。首府オタワはこの川の支流に臨み、木材の集散地で、製材パルプ製造の業が盛である。我が國の公使館もここにあり、その東方のモントリオールはセントローレンス川の中島にあつて、水陸交通の中心をなし、カナダ第一の貿易港で、小麦の輸出が多い。大洋を航行する汽船



ルーオリトンモ

も、川を遡つてこの港に達することが出来る。しかし、この川は冬季結氷するので、大西洋岸の不凍港ハリファクスが、冬季の海陸連絡港として重要である。ウイニペグは中部大平野の中心となつてゐる都會で、交通の要地を占め、農産物の集散地である。バンクーバーは太平洋岸の良港で、大陸横断鐵道の一端をなし、我が國の汽船もこゝに定期の航路を開いてゐる。またこの附近には約二萬の我が國人が移住してゐて、工業・農業・水産業等に從事してゐる。バンクーバーの北にあるプリンス



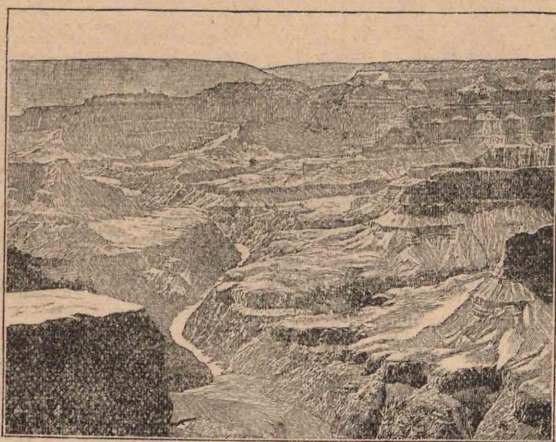
バークンバ

位置・面積・人口

地勢

ルーパートは、海陸交通の要地である。

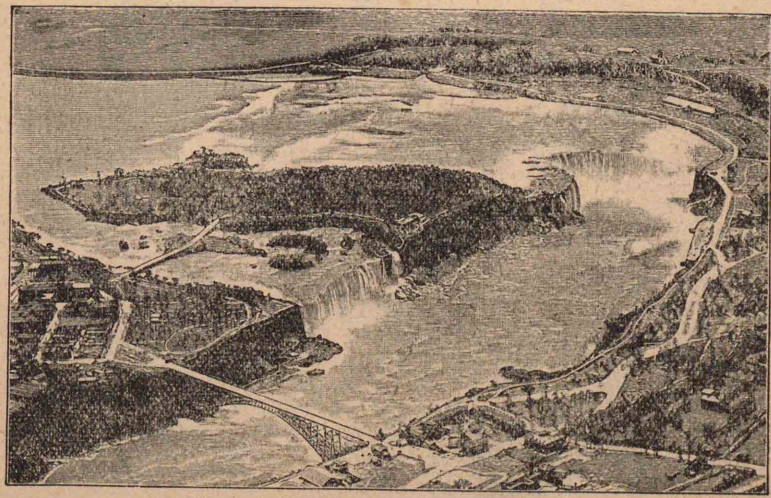
### 三 アメリカ合衆國



川 ド ラ ロ コ

アメリカ合衆國は北アメリカ洲の中部一帯の地を占め、北はカナダと接し、南はメキシコに境してゐる。面積凡そ七百八十万平方キロメートル、人口約一億二千萬である。アメリカ合衆國は、カナダと同じく、地勢上、西部東部の兩山地と中部の大平野とに分たれる。西部はカナダから續く一帯の山地で、東にあるロッキー山脈とその西にあるカスケード・シエラネバダ兩山脈との間には、盆地や高原を挟み、コロラド川が大峽谷を穿つて流れてゐる。中部は南北にわたる大平野で、北にはスペリオル・ミシガン・ヒューロ

ン・エリー・オンタリオの五大湖が相連なり、エリー湖とオンタリオ湖との間には、景色の壯大と水力の豊富とを以て名高いナイヤガラの瀧がある。大平野の中央部にはミシシッピ川が流れてゐる。この川は源をスペリオル湖の西方に發し、ロッキー山脈から出るミズーリ川をはじめ、多くの支流を合はせて南下し、メキシコ灣に注ぐ。長さ約六千五百キロメートル、世界第一の長流であり、水量も豊かで、流も緩やかであるから、水運の便が多く、また灌漑にも利用される。



瀧のラガイナ

東部には、低いアパラチャ山脈が北東から南西に連なり、その東側には带状の海岸平野がある。

高地一

氣候

國土が廣大であるから、氣候は一様でない。大平野の南部は一般に氣温が高いが、北に行くに従つて大陸性氣候を呈し、氣温の變化が甚だしくなる。また太平洋岸は温暖で、寒暑の差も少ないが、大西洋岸の北部は冬季寒冷である。雨量は、太平洋岸の北部及び大西洋岸からメキシコ灣岸にかけての地方に多く、西部の山地に少い。殊に大盆地附近は最も乾燥し、處々に沙漠さへある。

産業  
農業、牧畜  
林業、園藝



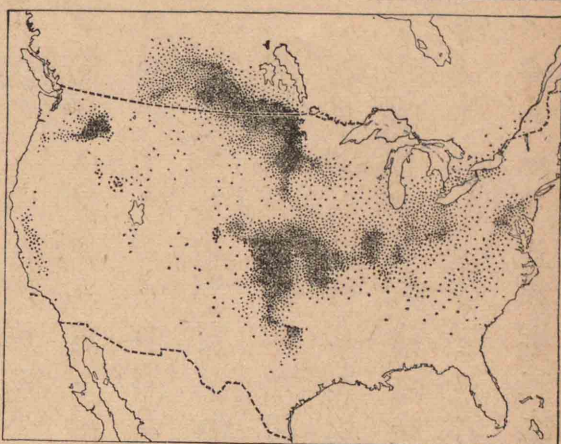
布分の綿の國衆合カリメア

中部の大平野には農業が極めて盛で、大規模な組織によつて行はれ、綿、小麥、玉蜀黍、煙草の産額は、いづれも世界第一である。また牛、豚、羊等の牧畜も頗る盛である。綿は大平野の南



集採の綿

鑛業



布分の麥小のダナカび及國衆合カリメア

部一帯の地に産し、耕作に従事するものは主に黒人である。小麦は中部及び北部を主産地とする。玉蜀黍は中部に産し、多くは家畜の飼料に供せられる。随つてこの地方には豚や牛の飼養が盛である。太平洋方面の北部の山地には、大森林があつて木材の産が甚だ多く、南部のカリフォルニア地方には、果樹の栽培が盛でオレンジ、葡萄等の産がある。

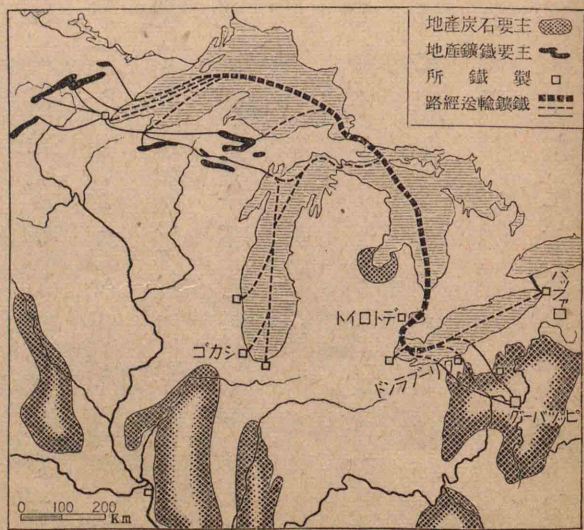
國內一般に種々の鑛物に富み、鐵、石炭、石油、銅の産額は、いづれも世界第一で、製鍊、製油の業も頗る盛である。鐵鑛はスペリオル湖附近に多く産し、石炭は主にアパラチャ山脈及び中部の平野に産する。石油は大平野の南西部及びカリフォルニアに多く、銅は西部の山地を主産地とする。この外、金、銀も甚だ多く、共にその産額は世界有數

高地一

工業

である。

工業も著しく發達し、紡績、製粉、機械、罐詰の製造、製材、紙造、造船等はいづれも大規模に營まれ、この國は世界の五大湖附近から大西洋岸にかけての一帯の地方は、水力や火力の動力が得易く、且、水陸交通の便が多いので、工業が最も盛である。

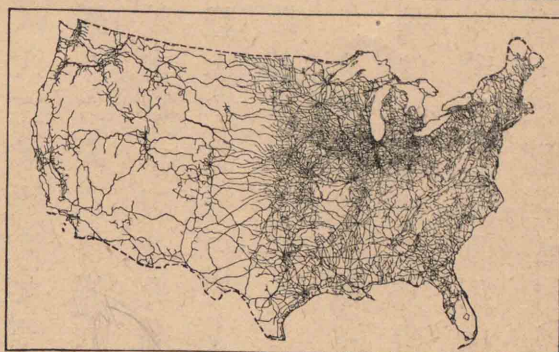


地産要主の炭石・鑛鐵の國衆合カリメア

交通

アメリカ合衆國はイギリスと共に世界の二大貿易國である。輸出品は綿、石油、機械、自動車、小麦、鐵材、煙草等、輸入品は生絲、コーヒー、ゴム、砂糖等で、取引はイギリス、カナダとの間に最も盛である。鐵道は國內到るところに通じ、大陸横斷鐵道も數條あつて、太平洋、大西洋岸を連絡してゐる。自動車の利用も頗る盛で、鐵道と共に陸

上交通の二大機關となつてゐる。また航空事業も近年著しく發達



布分の道鐵の國衆合カリメア

し、各地に定期航空路が開かれて、交通は一層敏活になつた。なほ五大湖をはじめ、ミシシッピ川や多數の運河はこの國の産業の發達に多大の貢獻をなしてゐる。外國航路は世界の各地に通じ、中でも大西洋方面が最も盛で、その沿岸には良港が多く、ヨーロッパ洲に通ずる汽船の出入が頻繁である。また太平洋岸の諸港は、主としてアジア洲大洋洲に航路を通じてゐる。

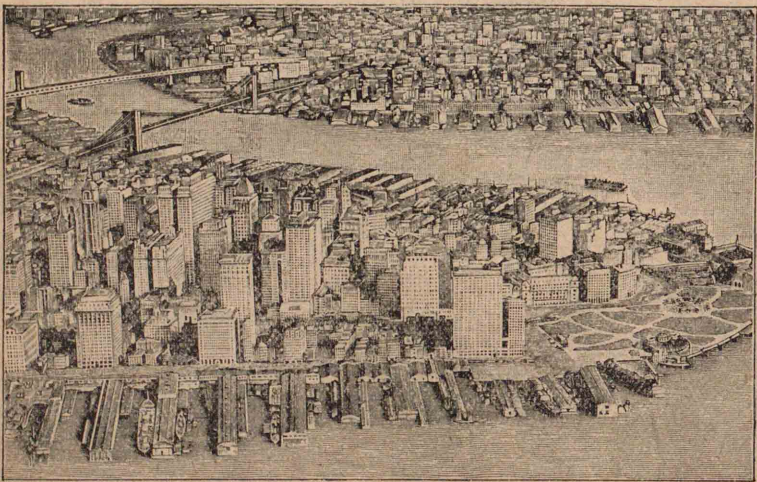
住民・政治

住民の大部分はヨーロッパ人種で、中でもイギリス人の子孫が最も多い。この外に、アフリカ洲から移された黒人の子孫も多いが、原住民族であるアメリカインディアンは、その数が少い。この國はもとヨーロッパ諸國に分領されてゐたが、今から約百五十

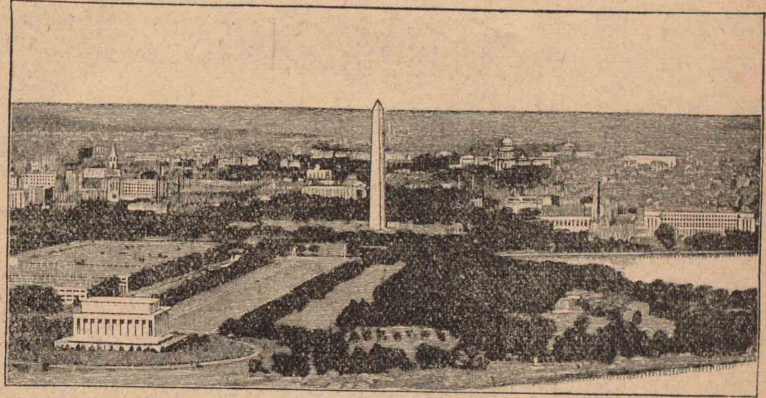
高地一

都邑

年前、大西洋岸のイギリス植民地の住民が獨立し、次第に領土を擴張して、遂に現今のやうな廣大富強の國家を形成したのである。政治は聯邦共和制で、任期四年の大統領が行政を統べてゐる。大西洋沿岸の北部は、國內で最もよく開けたところで、大都會が多い。ニューヨークはハドソン川の川口に臨み、人口約七百萬、ロンドンと並び稱せられる世界の大都會で、市内には高層建築が多く、商工業が極めて盛で、我が國の銀行會社の支店もある。川岸には無數の棧橋があつて、汽船の出入が繁く、世界第一の貿易港である。ニューヨークの南西にあるフィラデルフィヤとボルチモア



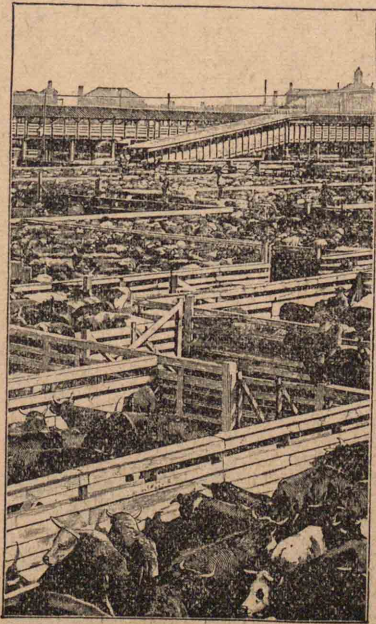
ク - ヨ - ニ



ワシントン

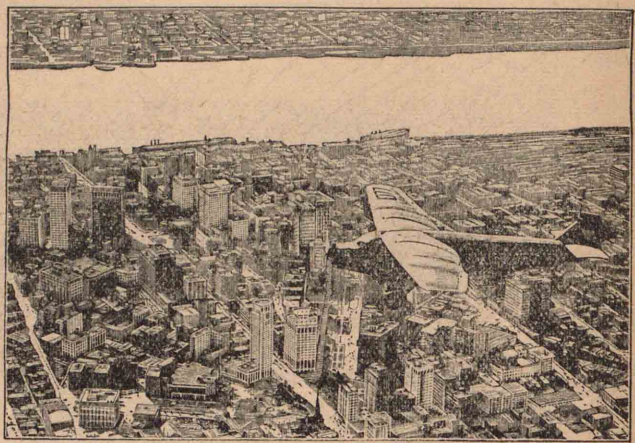
とは、共に商工業が盛である。ボルチモアの南のワシントンはこの國の首府で、我が大使館がある。ニューヨークの北東にあるボストンは學藝の盛なところである。

五大湖の附近には、シカゴ、デトロイト、ピッツバーグ等の都市がある。シカゴはニューヨークに次ぐこの國第二の大都會で、人口約三百萬、水陸交通の要地を占め、肉類、穀物の大市場で、また工業も盛である。デトロイトは自動車の製造を以て著れ、ピッツバーグは製鐵業



シカゴの畜養場

高地一

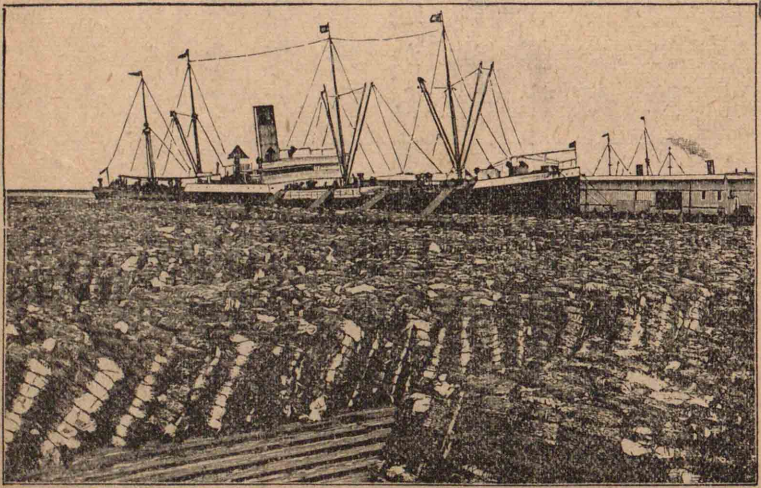


デトロイト

の中心地である。

ミシシッピ川とミズーリ川との會點にあるセントルイスは、水陸交通の要地で、農産物、畜産物の集散が盛である。またミシシッピ川の下流に臨むニューオーリヤンは、その西のガルベストンと共に綿の輸出港として名高い。

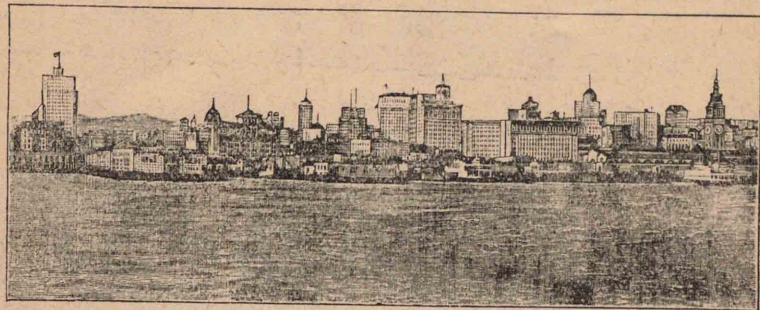
太平洋岸には、ロスアンゼルス、サンフ



綿の積出し(ガベルストン)

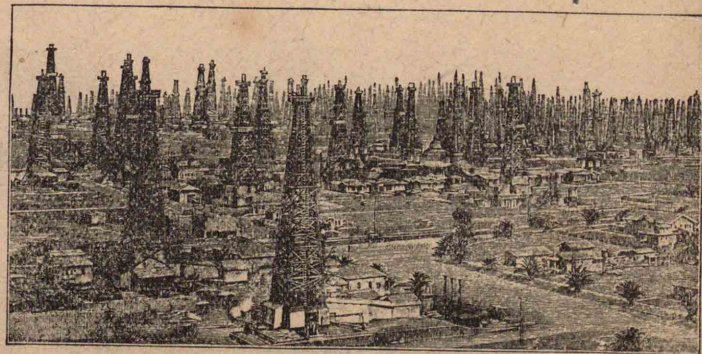


ランシスコ・シヤトル等の港市があり、いづれ



コ ス シ ン ラ フ ン サ

も大陸横断鐵道と太平洋航路との接續地である。ロスアンゼルスは近來その發達が著しく、西部の最大都市となつた。市には映畫の製作所が多く、附近からは石油果物を産する。サンフランシスコは太平洋岸第一の良港で、ロスアンゼルスと共に石油果物の輸出が多い。シヤトルはピューゼットサウンドに臨み、木材・小麥等を輸出する。



井油の近附スルゼンアスロ

アラスカ

アラスカは寒氣が強く、住民は少い。近海はさけ海獸の産に富み、

高地一

我が國との關係

ーコン川の流域は金を産出する。アリューシャン列島のダッチハーバーは、軍事上の要地である。

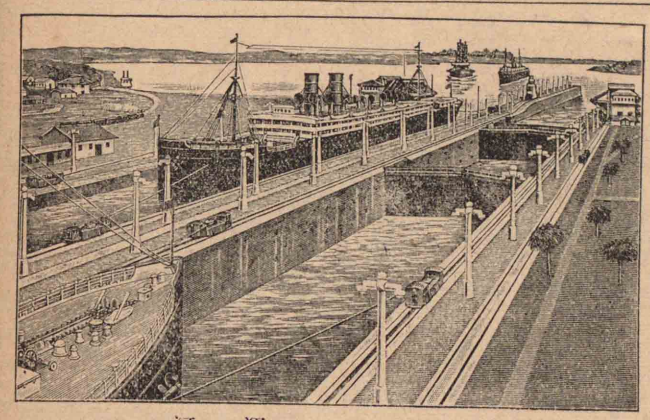
我が國とアメリカ合衆國とは太平洋を隔てて相對し、彼我の關係は頗る密接である。我が國の汽船は、太平洋方面の諸港は勿論、大西洋方面の諸港にも定期に往來し、彼我の交通は頻繁である。この國は我が國第一の取引先で、取引額は我が總貿易額の約三分の一に當つてゐる。我が國はこの國から綿木材、鐵材、機械、自動車、石油、小麥等を輸入し、我が國からはこの國へ生絲、絹織物、陶器、茶等を輸出してゐる。中でも、生絲と綿とは最も重要な取引品で、我が國の經濟の消長と密接な關係がある。この國へは早くから我が移民の渡航するものも多く、その數約十萬に達し、主として太平洋方面で農業に従事してゐるが、今は移住を禁止されてゐる。

#### 四 その他の地方

メキシコ

メキシコはアメリカ合衆國の南西に接する共和國で、その面積約

二百萬平方キロメートル、我が國の三倍に近い。住民はイスパニヤ人・土人及びそれらの雜種から成り、總數凡そ一千六百萬である。この國は一大高原であつて、海岸には狭い平野がある。南半は熱帯にあるので、海岸の平地は一般に炎熱が甚だしいが、内地の高原は氣候概ね温和であるから、住民の多くはこの高原に住んでゐる。首府メキシコは海拔二千三百メートルの高所に位し、我が公使館もこゝにある。鑛業はこの國の主要な産業で、銀の産額は世界第一に位し、金銅石油の産も多い。農産物には玉蜀黍綿煙草コーヒ等がある。



中央アメリカ諸國

パナマ運河

中央アメリカはメキシコの南東に連なる細長い地方で、面積は凡そメキシコの四分の一である。この地方は六の小共和國とい

高地一

西印度諸島

ギリスの領地とに分れてゐて、その中、パナマ共和國のパナマ地峽には、有名なパナマ運河がある。この運河はアメリカ合衆國の經營するところで、延長約八十キロメートル、太平・大西の二大洋を連絡し、交通上、軍事上、極めて重要である。西印度諸島はメキシコ灣の東方に連なり、その南側にカリブ海を抱いてゐる。諸島中、最も大きいのはキューバ島で、共和國を形成し、首府をハバナといふ。この國は甘蔗煙草等の耕作が盛で、砂糖の産額は世界第一である。

### 第五 南アメリカ洲

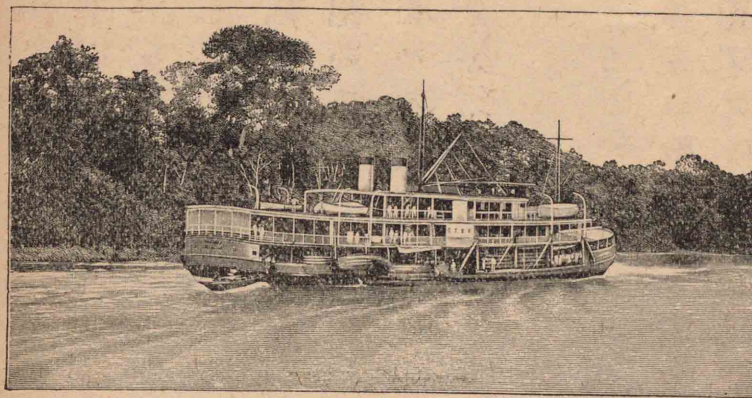
#### 一 總說

位置・面積

南アメリカ洲は北アメリカ洲の南に連なるほぼ三角形の大陸で、面積は北アメリカ洲よりやゝ小さく、約一千九百萬平方キロメートルである。

地勢

本洲は、地勢上、西部中部東部の三部に分たれる。西部には長大高峻のアンデス山脈が、太平洋岸に沿うて南北に連なり、中にあまたの



アマゾン川

高い火山がある。また東部には高原状のブラジル山地があるが、あまり高くない。東西兩山地の間は中部の大平野で、この大平野をアマゾン川は東流し、ラプラタ川は南流して、共に大西洋に入る。海岸は南西部にあまたの小出入や小島があるだけで、その他は一般に出入に乏しく、屬島も殆どない。本洲の大部分を占めてゐる北半部は、熱帯にあるので、高地を除き一般に氣温が高く、また雨が多いたゞアンデス山脈の西側の一部は、乾燥して沙漠となつてゐるところがある。しかし、南半部は温帯にあるから、氣

高地一

氣候

候は温和で、雨はアンデス山脈の西側に多く、東側に少い。

産業

農業・牧畜・鑛業が主な産業で、工業は甚だ振るはない。中部以北にはコーヒー・カカオ・甘蔗等を多く産し、南部には小麥の産が多く、牛羊等の牧畜も盛である。西部のアンデス山地は、チリ硝石をはじめ、銀銅等の産に富み、また北部には石油の産が多い。本洲はこれら食料品原料品の世界的供給地で、加工品は多く輸入に仰いでゐる。

交通

本洲は、今なほ未開の地が多いから、交通は一般に不便である。鐵道は、産業の盛な中部以南にかなり發達してゐるが、他の大部分には殆ど敷設されてゐない。また水運ではラプラタ川は盛に利用されてゐるが、アマゾン川はまだあまり利用されてゐない。

住民

住民の數は約八千萬で、主にポルトガル人・イスパニヤ人・土人・黒人及びこれらの雜種で、近時移住したイタリヤ人・ドイツ人も多い。

區分

本洲の大部分は、もとイスパニヤ・ポルトガル兩國の領地であつたが、今は北部のギヤナを除き、皆獨立して十箇の共和國となつてゐる。

我が國との  
關係

る。諸國の中、國勢がやゝ盛なのはアルゼンチン、ブラジルで、チリ、ペルーがこれに次ぎ、その他はいづれも振るはない。我が汽船は本洲の東岸、西岸の諸港に航路を通じてゐるが、彼我の取引はまだ盛でない。本洲は我が國人にとつて絶好の移住地であるが、在留するものはまだ僅かに十四萬に過ぎない。

### ニ ブラジル

位置・面積・  
人口

ブラジルは南アメリカ洲の東部及び中部の大部分を占め、面積約八百五十萬平方キロメートル、我が國の約十二倍半もある廣大な國であるが、人口は僅かに四千萬である。

地勢

南東部にはブラジル山地がある。この山地の大西洋方面は傾斜が急であるが、北方は傾斜が緩く、次第に大平野に移つてゐる。この大平野を西から東に流れるアマゾン川は、長さに於てはミシシッピ川に及ばないが、流域の廣いことと水量の多いこととに於ては、世界第一である。流は極めて緩やかで、海洋を航行する大汽船も、川口か

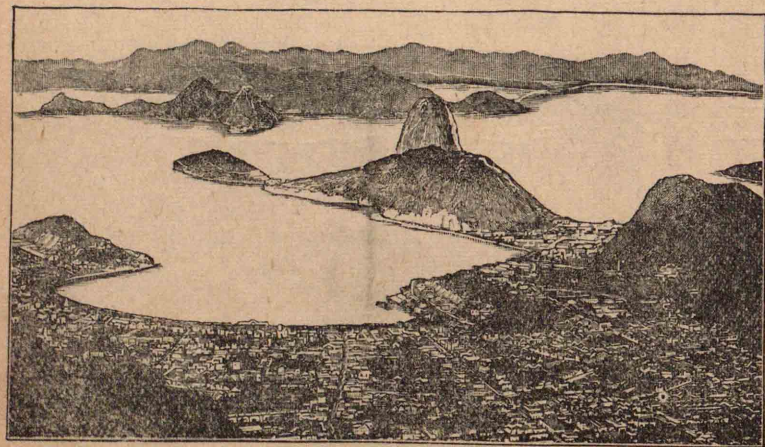
高地一

氣候・産業

ら中流にあるマナオスまで自由に上下することが出来る。

アマゾン川の流域は赤道附近にあるけれども、ところによつては割合に氣候がよく、將來開發される見込はあるが、今は僅かに野生ゴム、木材等を産する外、まだあまり利用されてゐない。ブラジル山地の南部は、氣候が温和であるから主要な農業地帯をなし、殊にコーヒーの栽培が甚だ盛で、その産額は世界第一である。また東部の海岸地方には甘蔗・綿煙草・カカオ等の産が多い。

首府リオデジャネーロは自然の良灣に臨み、景色が美しいので名高い。商業が頗る盛で、我が大使館もこゝにある。サンパウロはコーヒー産地の中心市場で、その南



ローネジャデオリ

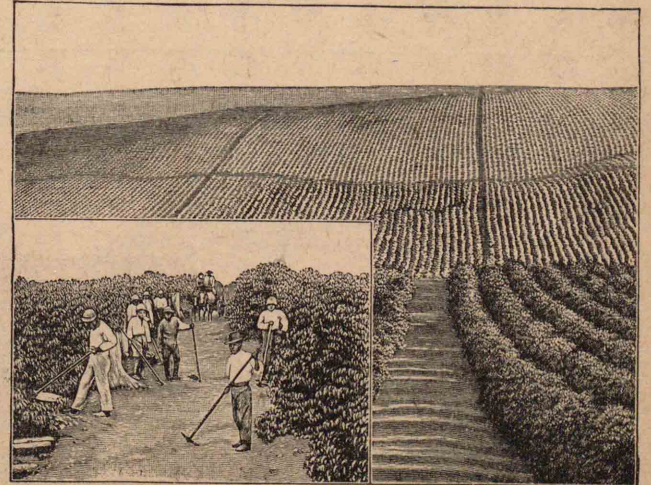
我が國との  
關係

にあるサントスはコーヒーの輸出港として著名である。リオデジャネーロとサントスとは、共に我が汽船の航路に當つてゐる。

この國は種々の便宜を與へて我が移民を歓迎してゐる。我が國人の在留するもの約十二萬に達し、主としてサンパウロ州で、コーヒーの栽培その他の農業に従事してゐる。

### 三 アルゼンチン

アルゼンチンは南アメリカ洲の南部に位し、面積は凡そ三百萬平方キロメートルもあるが、人口は僅かに一千一百萬である。西は高峻なアンデス山脈によつてチリに接し、國境には南アメリカ洲第一の高峯アコンカグア山が聳えてゐる。東部は一帶の平野



業作の國人が我と園ーヒーコ

位置・面積・  
人口  
地勢

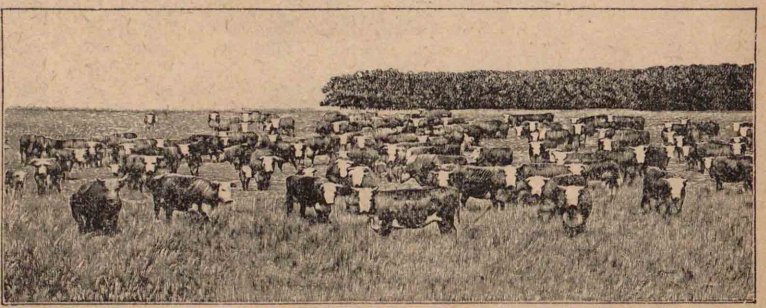
氣候・産業

で、その北半はラプラタ川の流域である。北部は氣温が高く、綿・甘蔗等を産する外、産業は



(ンチンゼルア) 積野の麥小

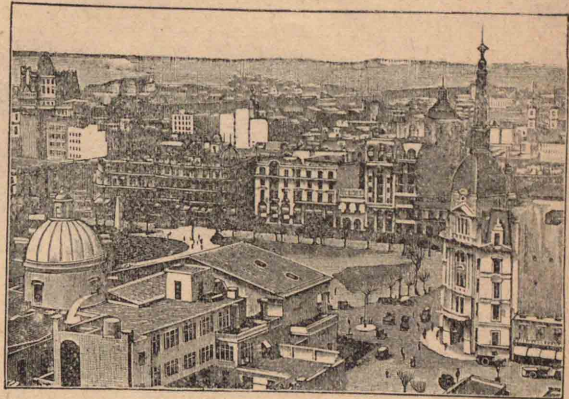
一般に進んでゐない。中部は氣候が温和で、地味も肥沃であるから、各國から移住するものも多く、開拓も著しく進み、世界に於ける主要な農牧地となつてゐる。農産物には小麦・玉蜀黍・亞麻等があり、中でも、小麦の産額が甚だ多い。また牛や羊の飼養も盛で、肉類・羊毛・皮革等の産額が多く、小麦と共に、主としてブエノスアイレスから各國に輸出される。南部は氣温が低く、一般に荒地で、牧畜がやゝ行はれてゐるに過ぎない。



(ンチンゼルア) 畜牧の牛

高地一

都邑



スレイアスノエブ

首府ブエノスアイレスはラプラタ川の川口に位し、水陸交通の要地を占め、貿易が甚だ盛である。人口は二百萬を超え、本洲第一の都會で、我が汽船も通じてゐる。また我が公使館もこゝにある。鐵道は、こゝからアンデス山脈を横斷してチリのバルパライソに通じ、大西太平洋兩洋岸の連絡をとつてゐる。ロサリオはラプラタ川の下流に臨み、農産物畜産物の大集散地である。

### 四チリ

位置・面積・人口

チリはアンデス山脈の西斜面にある細長い國で、面積凡そ七十五萬平方キロメートル、人口約四百萬である。

この國は鑛物に富み、チリ硝石銅等の産が多い。チリ硝石は北部の乾燥地に産し、イキークから各國に輸出され、我が國へ來る額も少

産業

高地一

都邑

位置・面積・人口

くない。銅は北部・中部の山地に多く、その産額は、アメリカ合衆國に次いで世界の第二位にある。農業は中部の縦谷に行はれ、小麥・葡萄等を出す。首府サンチャゴはこの國の中央に位し、我が公使館もこゝにある。その北西のバルパライソは太平洋岸の良港で、首府の門戸をなし、我が汽船も通じてゐる。

### 五ペルー

ペルーはブラジルの北西に隣り、面積約百四十萬平方キロメートル、人口約六百萬である。

太平洋岸には綿甘蔗等を産し、アンデス山地には銀銅石油の産が多く、またアルパカリヤ、羊等の牧畜も行はれてゐる。首府をリマと稱し、我が公使館もこゝにある。カイヤオはその門戸をなす港で、船

産業・都邑



掘採の石硝リチ

船舶の出入が多く、我が汽船の航路に當つてゐる。この國はブラジルに次ぐ南米第二の我が移住地で、在留するもの約二萬である。

### 六 その他の地方

コロンビヤ

コロンビヤは本洲の北西隅を占め、低地は暑氣が甚だしい。首府ボゴタは海拔二千六百メートルの高所にある。農産にはコーヒー、甘蔗等、鑛産には金、白金、石油等がある。

ベネズエラ

ベネズエラはコロンビヤの東にあつて、コーヒー、カカオ等を産する。近年石油の産額が激増して、世界屈指の産油國となつた。

ギヤナ

ギヤナはベネズエラの東に接する地方で、イギリス、オランダ、フランスの三國に分領され、開發はまだ進んでゐない。

エクアドル

エクアドルはコロンビヤの南に接し、カカオの産が甚だ多く、またパナマ帽はこの國の特産である。首府キトは赤道附近にあるが、海拔約三千メートルの高所にあるから、氣候は温和である。

ボリビヤ

ボリビヤはアルゼンチンの北に接する國で、錫の産が多い。ラパス

高地一  
高地一

パラグアイ  
ウルグアイ

はその首府である。

パラグアイ、ウルグアイの二國は、ブラジルとアルゼンチンとの間に位する小國で、共に牧畜が盛である。ウルグアイの首府モンテビデオは大西洋岸の良港で、肉類、羊毛、皮革等の輸出が多い。

## 第六 大洋洲

### 一 オーストラリヤ

面積・人口

オーストラリヤは世界最小の大陸で、その面積約七百七十萬平方キロメートル、人口約六百五十萬である。

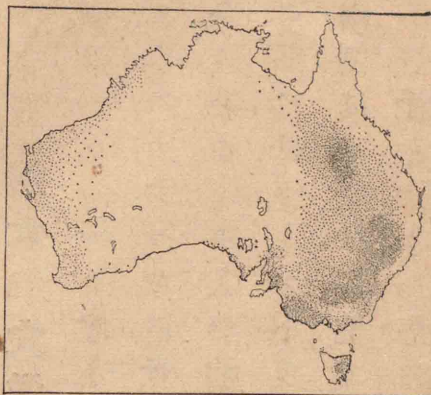
地勢

東部には、オーストラリヤ山脈が海岸に沿うて南北に連なり、その内側は一般に平地で、マレー川が流れてゐる。中部以西は海岸の小平野を除き、一帯の高原である。

海岸は、北部と南部とに大きな灣がある外は、一般に出入に乏しいが、南東部には處々に良灣がある。また北東の海上には海岸に沿う

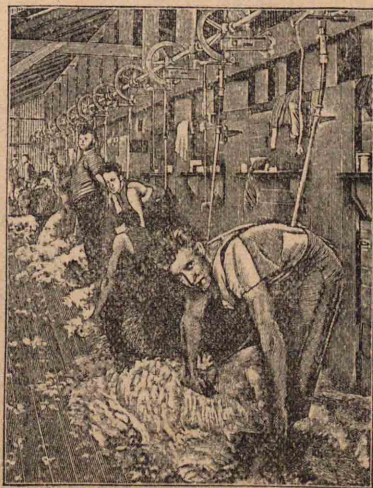
氣候・産業

て、約二千キロメートルにわたり、大珊瑚礁が連なつてゐる。内地は氣温の變化が甚だしく、且乾燥



オーストラリアの羊の分布

してゐるので、大部分は沙漠や草原となつてゐる。しかし、南東部は氣候



羊毛の機械刈

が盛で、羊毛肉類の産が頗る多い。中でも羊毛の産額は世界の第一位を占めてゐる。鑛業は早くから行はれ、西部には金、東部には金石炭等の産がある。

オーストラリアにはカンガル―ユーカリ樹等、固有の動植物があるが、現今重要な産物となつてゐる羊牛小麥等は、すべて他の大陸

貿易

から移されたものである。

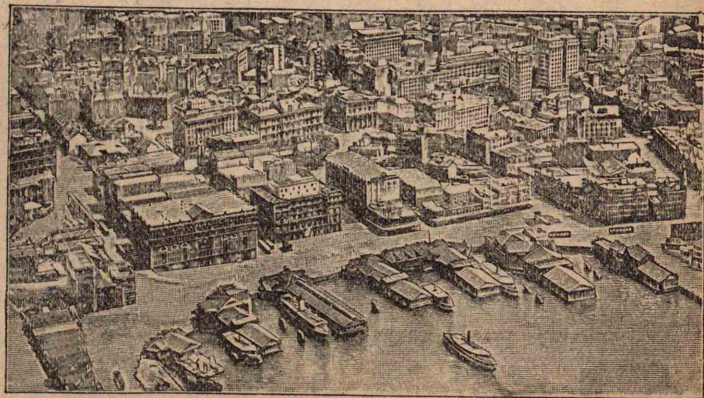
貿易はイギリス本國との間に最も盛である。輸出は原料品、食料品が主で、羊毛肉類小麥等が多く、輸入は加工品が主で、機械織物等が多い。我が國はこの地から羊毛小麥を輸入し、絹織物綿織物等を輸出する。

住民・政治

オーストラリアはイギリスの自治植民地で、タスマニヤ島と共にオーストラリア聯邦を組織してゐる。住民の大部分はイギリス人で、土人の數は少く、且甚だ未開である。

都邑

南東部は産業が盛であるから、交通も都邑も發達し、オーストラリアで最も重要な地方となつてゐる。シドニーは本洲第一の都會で、長灣に臨み、景色がよい。その南西にあるカンベラは、聯邦の首府で、更にその南西の海岸にあるメルボルンは、



シドニー



シドニーに次ぐ都會である。シドニーとメルボルンとは、共に貿易が盛に行はれ、我が國の汽船もこゝに航路を通じてゐる。この外、メルボルンの西にあるアデレードも、大陸の西岸にあるパースも、共に重要な港である。

### 二 その他の諸島

面積・人口・地勢・氣候

本洲の諸島は、その全面積約百三十萬平方キロメートル、人口約三百萬である。諸島の中、バプアとニューギランドとの外は、いづれも面積が小さく、概ね火山か珊瑚礁である。多くは熱帯にあるが、海洋の影響を受けるから、暑氣は甚だしくない。

ニューギランド

ニューギランドはオーストラリアの南東海中にあつて、南北の二島から成り、面積は約二十七萬平方キロメートルで、我が本州よりやゝ大きい。イギリスの自治植民地で、人口約百五十萬、その大部分はイギリス人である。土人はマオリ族と稱し、その數は少い。南島には高峻な山脈が連なり、處々に氷河がある。また北島には火山温泉

高地一  
高地一

ハワイ諸島

が多い。氣候は温和で、農業牧畜に適し、殊に羊・牛が盛に飼養され、羊毛・凍肉・バター・チーズの輸出が多い。

首府ウエリントン及び商港オークランドは北島にあつて、共に貿易が盛である。

ハワイ諸島はアメリカ合衆國に屬し、面積僅かに一萬七千平方キロメートルである。諸島の中、最大のハワイ島には、ケヤロア・キラウエヤ等の火山がある。キラウエヤ山の噴火口は、常に熔岩を湛へてゐるので、名高い。氣候は温暖で、且、地味も肥え、甘蔗・バナナ・アップル等の栽培が盛である。人口は約三十八萬、土人の數は少く、大部分は外國の移民である。中でも、我が國人が最も多く、その數十四萬にあまり、多くは



畑ルブツアニイバ

グアム島

農業に従事してゐるが、商業を営むものも少くない。首府ホノルルはオアフ島にあつて、太平洋交通上の要地を占め、我が汽船の航路に當つてゐる。その附近にあるパールハーバー(眞珠港)は、アメリカ合衆國の軍港である。グアム島はマリヤナ群島の南部に位し、我が南洋委任統治地域の間にある。アメリカ合衆國に屬し、海底電線中繼所及び貯炭所として重要である。

高等小學地理書 卷一 終

昭和九年一月十七日翻刻印刷

昭和九年二月五日翻刻發行

高等小學地理書 卷一

定價金拾貳錢

ほ

著作權所有

著作兼  
發行者

文  
部  
省

翻刻發行  
兼印刷者

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社  
代表者 石川 正 作

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社工場

昭和九年一月十二日  
文部省檢査濟

發行所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地  
東京書籍株式會社

庫  
34  
160

34  
160

広島大学図書  
2000067160  
